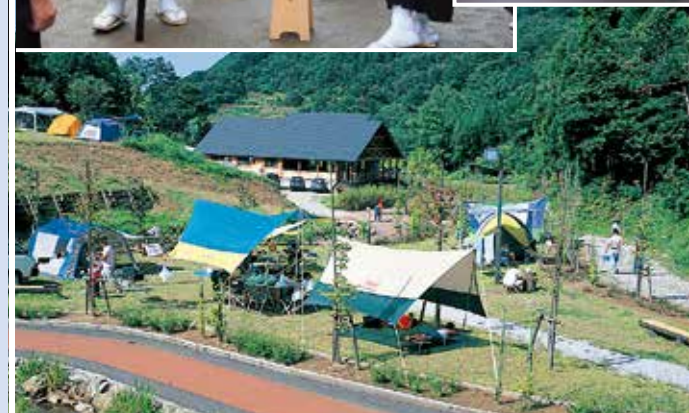


わたしたちのまち 三条



小学校 学 園	年	組

わたしたちのまち 三 条

社会科学習資料集 3・4年生用



市の木「^{ごようまつ}五葉松」 市の花「ひめさゆり」 市の鳥「^{しばじどり}芝地鶏」

三 条 市 教 育 委 員 会

この本を利用されるみなさんへ

みなさんは、2年生までの生活科の学習を終え、3年生から社会科の学習が始まります。

3年生・4年生では、わたしたちの住んでいる三條市の人々のくらしの様子や、そのくらしをよりよくするための人々の工夫や努力について学習することになります。

「わたしたちのまち三條」は、みなさんが三條市のことについて考えるときに必要な、地図・写真・グラフ・仕事を中心になっている人々の話などを集めました。

これらの資料をよく読みとり、さらに身近なところを見学して、たしかめ合ってください。また、みなさんが調べたことも、いろいろな地図や資料にまとめてみましょう。

このような学習をとおして、三條市の様子がよくわかるようになるだけでなく、三條市の人々のくらしをよくするために、どんな問題を、どのように解決したらよいかについても考えてください。

この本をおおいに活用し、社会科の学習を楽しいものにするとともに、学習したことを生かしてみんなでよりよい三條市を創っていきましょう。

わたしたちのまち 三条 もくじ

この本を利用されるみなさんへ	3
三条市民憲章	7
発展するまち三条市	8

1 見つめよう わたしたちのまち

(1) 屋上から見た学校のまわり	12
(2) 東コースをたんけんしよう	13
(3) 西コースをたんけんしよう	14
(4) 南コースをたんけんしよう	15
(5) 北コースをたんけんしよう	16
(6) まちの地図をつくろう	17

2 わたしたちのくらしと店の仕事

(1) 買い物調べ	18
(2) 買い物をする所	19
(3) いろいろな土地から集まる品物	22
(4) 買い物をする人の工夫	23
(5) これからの買い物のしかた	23

3 工場の仕事

(1) 三条でつくられている製品	24
(2) 三条市のおもな工場の数と働いている人の数	24
(3) 包丁をつくる工場	25
(4) 体験してみよう	31
(5) 世界へ羽ばたく三条の製品	31

4 農家の仕事

(1) 土地と農産物の様子	32
(2) 米づくりのさかんな地域	35
(3) 大豆づくりのさかんな地域	37
(4) くだものづくりのさかんな地域	38
(5) 野菜づくりのさかんな地域	40
(6) さつまいもづくりのさかんな地域	41
(7) 庭づくりのさかんな地域	41

5 火事からまちを守る

(1) 三条市の火事	42
(2) 学校や地域の消防しせつ	43
(3) 消防署の見学	44
(4) 火事で苦しんだ三条	47

6 事故や事件からまちを守る

(1) 交通事故をふせぐ	48
(2) 110番のしくみ	50
(3) 駐在所の警察官の仕事	51

7 三条市の人々のくらしのうつり変わり

(1) 昔のくらしの道具	52
(2) 三条にのこる昔	54
(3) くらしのうつり変わりと新しい三条市へ	57

8 わたしたちのふるさと 三条

(1) 三条市の土地利用の様子	62
(2) 人口のうつり変わり	64
(3) 年齢別人口のうつり変わり	64
(4) くらしを豊かにする所	65

9 わたしたちのくらしとごみ

(1) 三条市のごみ収集	66
(2) ごみを処理するしせつ	68
(3) 燃えないごみや粗大ごみの処理	70
(4) 新しくなった最終処分場	71
(5) ごみをへらす ごみを生かす	72

10 わたしたちのくらしと水

(1) 水道の水をつくる所	74
(2) よこれた水を処理する所	78
(3) 三条市下水処理センターのしくみ	79

11 自然災害にそなえるまちづくり

(1) 三条市の近年の水害	80
(2) 現在の防災対策	81

12 地域の発展につくした人々

(1) 教育につくした人	82
(2) 治水につくした人々	84

資料1 三条市のイラストマップ

資料2 三条市のうつり変わり

資料3 三条市の文化財

(1) 文化財のある所	100
(2) 三条市の文化財一覧表	102
(3) 写真で見る三条市の文化財	104
(4) 三条市の名誉市民	108

あとがき	110
------	-----

表紙の写真



三条祭りのしゃぎり（三条地区・本町など）

5月15日、八幡宮の大名行列にさがけて、市内小学校児童がかさぼこを引き、笛や太鼓を演奏する「しゃぎり」というパレードを行ったり、みこしをかついだりして祭りを盛り上げてきた。

三条風合戦（三条地区・上須頃・防災ステーション）

古くから、ひと月遅れの端午の節句に行われてきた行事で、現在も6月の第1土曜、日曜に開かれる。高さ2～3メートルもある大きな六角風で、28チームにより、相手の風を落とす競技が行われる。

大名行列（三条地区・八幡町など）

5月15日、八幡宮の春季大祭が行われ、十萬石の格式があるといわれる大名行列が町をねり歩く。みこしを先導する高い足駄を履いた天狗様も人気がある。三条市文化財に指定されている。

JA えちご中越のカントリーエレベーター（栄地区・善久寺）

栄地区にあるカントリーエレベーターは、刈り取ったあとの籾を、自然乾燥して冷却し、低温で貯蔵する。新鮮な状態で籾を貯蔵できる冷却装置は、平成12年に設置された。

三条の金物

三条の商人は、江戸時代から日本各地をまわり、金物を販売していた。昔は大工道具や、農具などをつくっていたが、現在は包丁や園芸用具、作業工具なども多くつくられている。

雨生の大蛇祭（下田地区・萩堀など）

大蛇祭は、8月に開かれる「しただふるさと祭り」の行事の一つ。下田地区の英雄五十嵐小文治の伝説にちなんだまつりで、大蛇に姫を乗せた行列は、八木神社で出発式が行われる。

中浦ヒメサユリ森林公園（下田地区・中浦）

市の花ヒメサユリが群生する緑ゆたかな公園。なだらかな山の地形を生かした遊歩道で園内を一周したり、キャンプ場で野外炊飯を楽しんだりできる。休日には子どもたちでにぎわう。

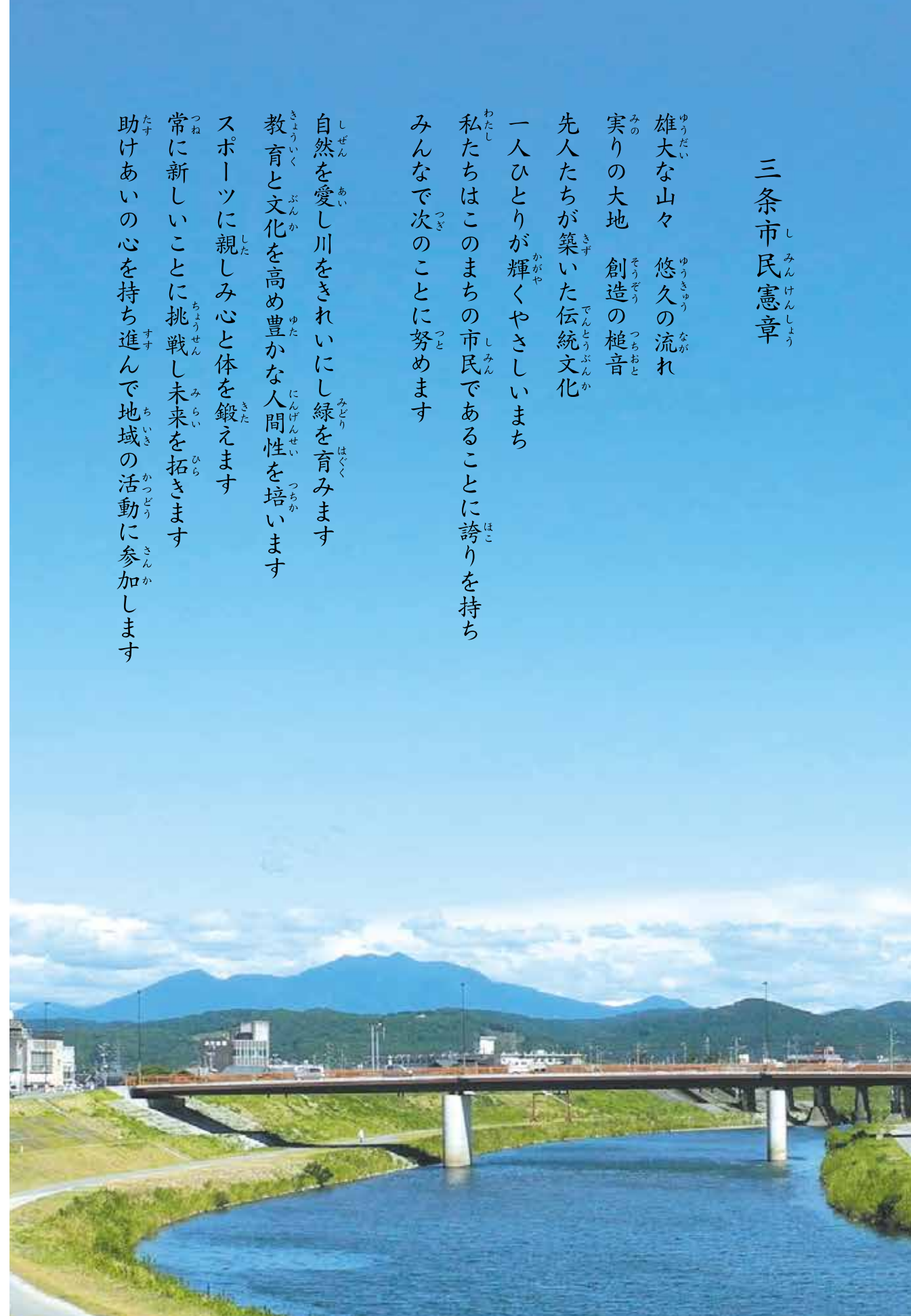
しらさぎ森林公園（栄地区・矢田）

広い公園には6月中旬になると花菖蒲が一面に咲く。人と自然のふれあいを目的としたこの公園は、ふれあい広場・ちびっこの丘などもあり、全部で6万8000平方メートルの広さがある。

三条市憲章

雄大な山々 悠久の流れ
実りの大地 創造の槌音
先人たちが築いた伝統文化
一人ひとりが輝くやさしいまち
私たちはこのまちの市民であることに誇りを持ち
みんなで次のことに努めます

自然を愛し川をきれいにし緑を育みます
教育と文化を高め豊かな人間性を培います
スポーツに親しみ心と体を鍛えます
常に新しいことに挑戦し未来を拓きます
助けあいの心を持ち進んで地域の活動に参加します



はってん
発展するまち三条市



わたしたちのまち、三条市は
どのようなまちなのでしょう。
みんなで^{がくしゅう}学習していきましょう。



①国道8号の様子 (直江町)



②発展する燕三条駅周辺 (須頃)



③工場が多く集まっている所 (金子新田工場団地)



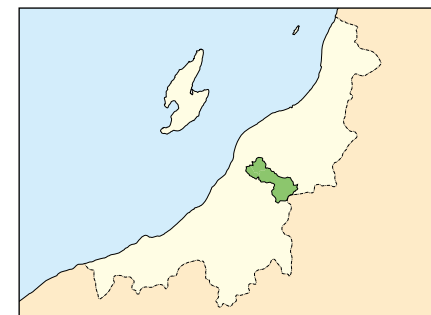
④水田が広がる栄地区 (新堀)



⑤店の多い所 (上須頃)



⑥五十嵐川下流の様子 (本町)



三条市の位置



⑦五十嵐川上流の様子 (塩野沢)



⑧栗ヶ岳 (飯田より)



⑨果樹園が広がる大島地区 (大島)



⑩信濃川沿いに広がる畑 (三貫地)



⑪庭づくりが盛んな保内 (下保内)



1 見つめよう わたしたちのまち

(1) 屋上から見た学校のまわり (おくじょう 裏館小学校)

学校のまわりをたんけんして、もっと近くで見ましょう。



北



東



西



南



(2) 東コースをたんけんしよう

① しやくしよ ちようしゃ 三条市役所三条庁舎



市役所では、三条の^{ひとびと}人々のくらしをささえるために、いろいろな手つづきや相談^{そうだん}をしています。
窓口^{まどぐち}のサービスは、三条、下田^{さかえ}、栄のどの庁舎でも、同じように行っています。

市役所で働く人の話



② こうせいふくし かいかん 厚生福社会館



三条の人々の健康^{けんこう}や生活^{じゆうじつ}の充実のためのしせつです。体を動かしたり、健康診断^{けんこうしんだん}をしたりする時などに利用されています。

③ けいさつしよ 三条警察署



三条の人々の安全^{あんぜん}を守るために、パトロールをしたり、犯罪^{はんざい}を取りしまったりしています。

(3) 西コースをたんけんしよう

① ^{がた}大型スーパーマーケット



② ^{ちゅうしゃじょう}広い駐車場のある店



③ ^{しょうぼうほんぶ}三条市消防本部・^{しょうぼうしょ}消防署



④ ^{おおはし}石上大橋



石上大橋をわたると、国道^{ごう}8号や三条^{つばめ}燕インターチェンジ、燕^{えき}三条駅へ行けるよ。
ほかの^{ちいき}地域と行き来するための大切な橋だね。

(4) 南コースをたんけんしよう

① ^{きたさんじょうえき}JR北三条駅



いろいろな^{しせつ}施設があるね。どんな^{りよう}人が利用するのかな？



② ^{ゆうびんきょく}三条郵便局



③ ^{はちまんぐう}八幡宮



④ ^{としょかんとうふくごうしせつ}まちやま (図書館等複合施設)



(5) 北コースをたんけんしよう

①田や新しく建てられる家



新しい家を建てていたよ。
これから、どんどんこの
地域に家が建って、たくさん
の人が住むのかな？



②特別養護老人ホーム「うらだての里」

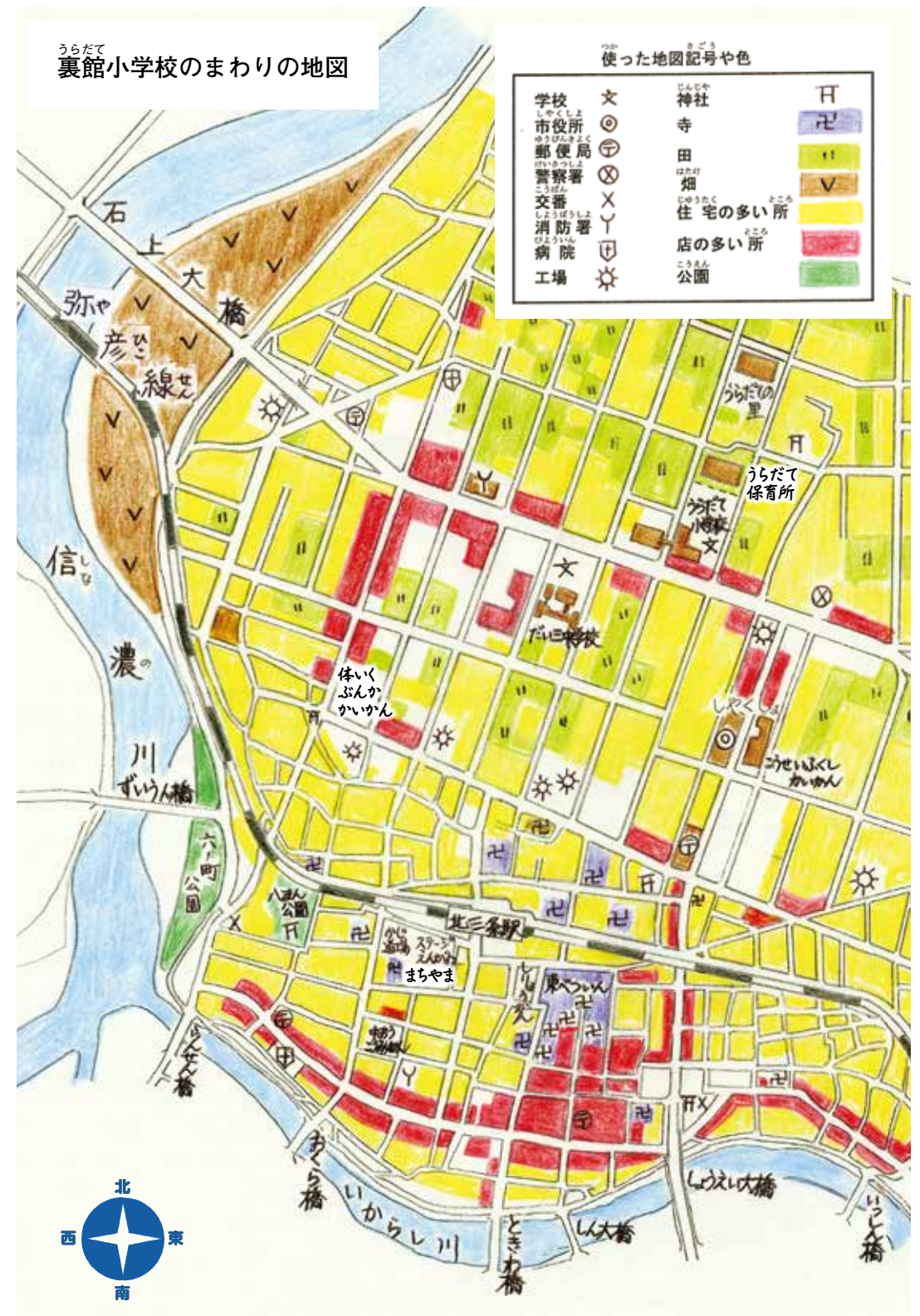


うらだての里では、80名ほどの利用者の方が生活
しています。毎年、近くの小学校の子どもたちと交流
をしています。

利用者の方は、とても楽しみにしています。



(6) まちの地図をつくろう



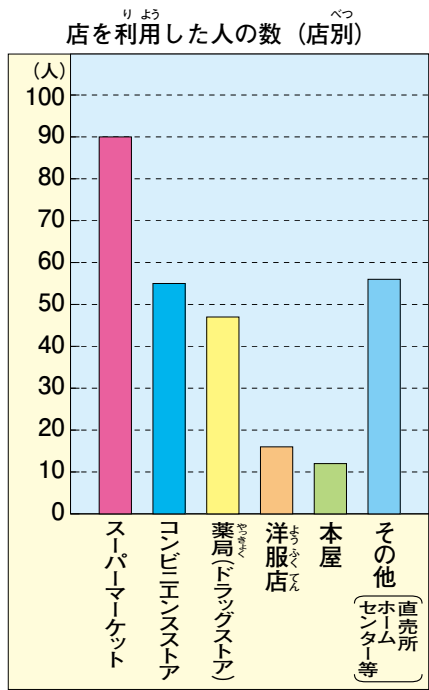
2 わたしたちのくらしと店の仕事

(1) 買い物調べ

① 買い物の様子



② 買い物調べをしよう



(A小学校3年生の1週間 令和5年)

家の人が買い物をした所

(月 日 ~ 月 日)

※買い物をした所に○をつけましょう。

月曜日						
火曜日						
水曜日						
木曜日						
金曜日						
土曜日						
日曜日						
	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	薬局(ドラッグストア)	洋服店	本屋	その他

(2) 買い物をする所

〔1〕 スーパーマーケット

① 利用しやすい駐車場



② たくさんの品ぞろえ



③ 目を引く表示



④ 地元の野菜



⑤ サービスカウンター



⑥ 自動精算機



⑦店^{とく}で取り組んでいるリサイクル

ペットボトル・アルミかん・食品のトレイ^{ぎゅうにゅう}・牛乳パックの回収^{かいしゅう}



買い物^{もの}ぶくろ節約^{せつやく}のためのマイバッグ・マイバスケット



スーパーの人の話

わたしたちの店では、リサイクル^{かつどう}活動をしています。牛乳パック、食品のトレイ、アルミかん、ペットボトルの回収ボックスを置き、お客様の協力^{きやくさ}で回収量も年々^{きょうりよく}増えています。



また、一度^{いちど}しか使わ^{つか}ないレジぶくろなどをへらすため、お客様からマイバスケットやマイバッグを持^もってきていただく活動もしています。

〔2〕そのほかの買い物をする所^{ところ}

①果物店^{くだものてん}



②精肉店^{せいにくてん}



③朝市^{ようす}の様子(五・十の市や二・七の市)



④コンビニエンスストア



⑤薬局^{やっきょく} (ドラッグストア)



⑥農産物直売所^{のうさんぶつちよくばいじょ}



⑦宅配サービス^{たくはい}



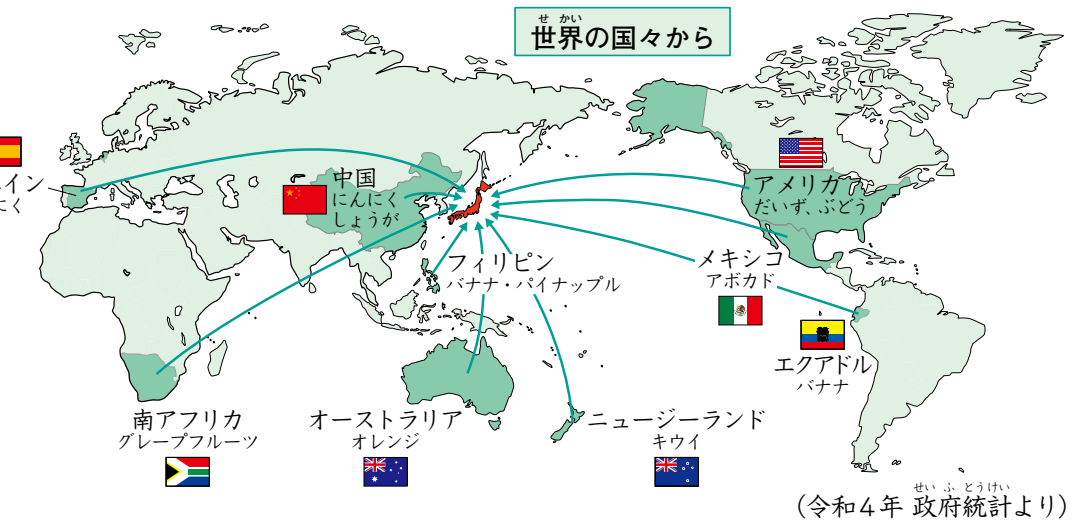
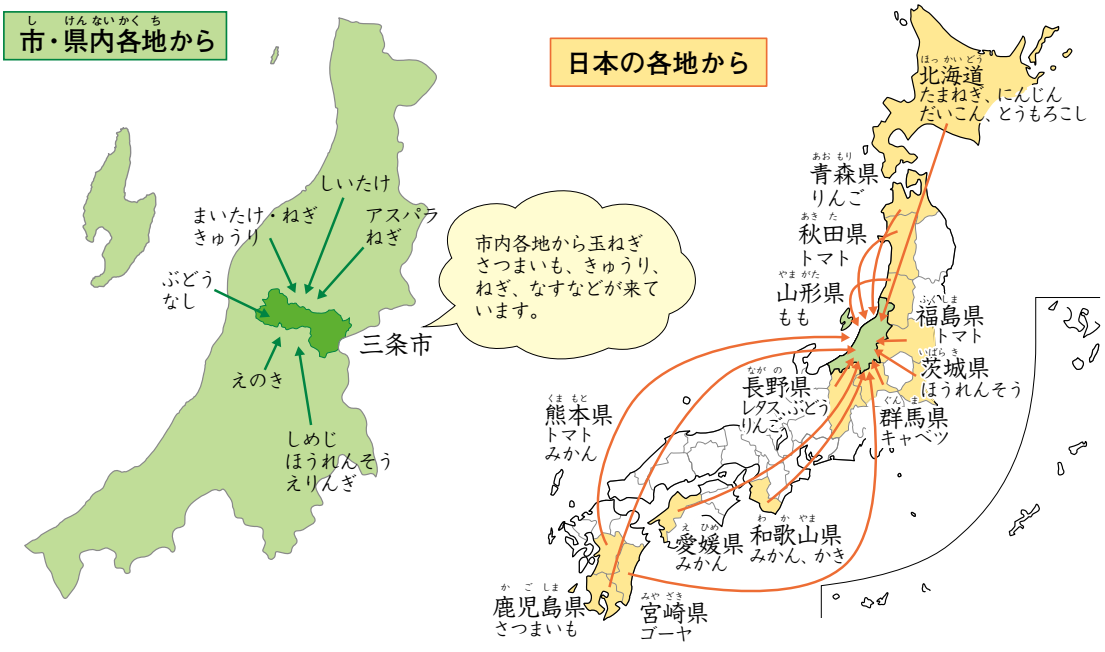
⑧無人販売所^{むじんはんばいじょ}



お店の人の様子や工夫^{くふう}していること、お客さんの様子などもっと知りたいな。お店に行って調べてみたいな。

(3) いろいろな土地から集まる品物（主なもの）

お店で売られている品物は、どこから来るのかな。



(4) 買い物をする人の工夫

家の人の話

わたしはいつも「よい品を、より安く買いたい。」と思っています。そのために新聞に折り込まれている広告をよく見て、何が安いのかチェックします。また、食品を買うときは、日付や産地などをよく見て買います。

近所のなじみのお店で買うときは、お店の人に今日はどんな品物が得かたずねて買うこともあります。

品物を一度にたくさん買いたいときは、休日などに品数の多いスーパーで買い物をします。

①新聞に入ってくる広告



②品物をえらぶ



家の人の買い物の工夫

家の人はどんなことを考えて買い物をしているのか聞いて書いてみましょう。

(5) これからの買い物のしかた

これから、わたしたちはどのように買い物をしていけばよいのでしょうか。考えてみましょう。

買い物をするとき、よけいなものを買わないように、メモを書いていきます。

ねだだけでなく、どこでつくられたか、いつつくられたかなどもよく見て買います。

環境にやさしい品物をえらぶようにしています。

3 工場の仕事

(1) 三条でつくられている製品

三条は金属製品の製造がさかんです。また、金属を加工する技術で、機械の部品をつくったり、電気製品をつくったりしています。

①包丁・はさみなど、家庭で使うもの



②ペンチ・ドライバーなどの作業工具



③のこぎり・かんなどの大工道具

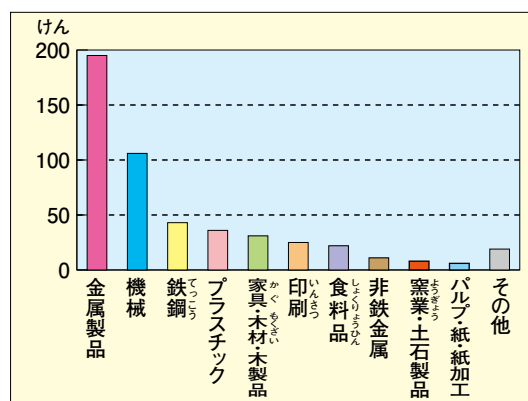


④石油ファンヒーターとルームエアコン

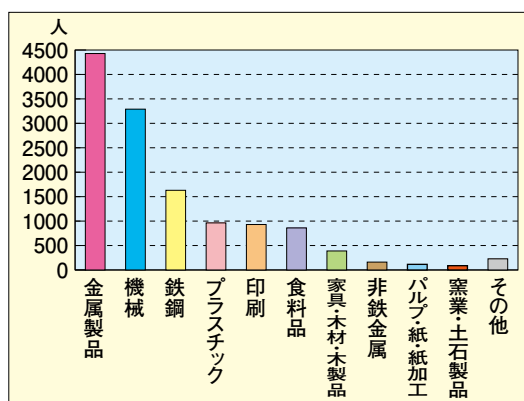


(2) 三条市のおもな工場の数と働いている人の数（4人以上の工場）

おもな工場の数



働いている人の数



(令和3年 工業統計調査)

(3) 包丁をつくる工場

(1) 工場の見学

古くから三条でつくられてきた包丁・木鋏・かんなど、のみなどの刃物は、平成21年に国指定伝統的工芸品に指定されました。

そのうち、包丁がどのようにつくられているのか、見学をすることにしました。

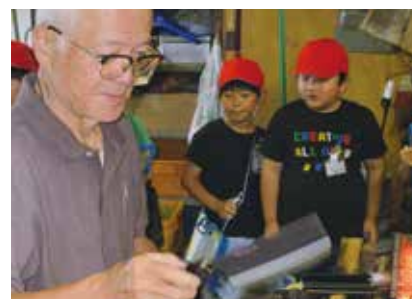
包丁がどこで、どのようにしてつくられているのか調べてみましょう。つくるときの工夫や、どんな願いをもってつくっているのか聞いてみましょう。



①包丁をつくる工場



②見学の様子



③いろいろな種類の包丁



ほうちょうをつくる工場の見学

○小学校3年 □組 名前(三条 鉄男)

- 1 見学する工場 包丁工場
- 2 工場のある場所 三条市東本成寺
- 3 見学する日 9月22日(水)
- 4 見学で調べること

(1) 見てくること

・ほうちょうのつくり方・はたらく人の様子・道具やさかい

(2) 聞いてくること

・ざいりょう・つくる時のくふう・どこに売っているのか

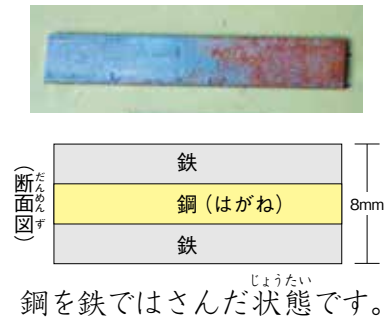
5 持ち物

・たんけんバッグ・えんぴつ(2本)、赤白ぼうし

(2) 包丁のできるまで

包丁の材料は、主に鋼と鉄（またはステンレス）です。

鋼はかたい刃になり、鉄は鋼をはさんで包丁を強くします。



① 鍛造

ガス炉の中で、800～900度に熱した材料をたたいて、包丁の大体の形にします。



② 荒研磨

機械でけずって、包丁の形にととのえます。



③ 焼入れ

ととのえた材料を再び800度くらい的高温で熱して水で一気に冷やしかたくします。

水で一気に冷やすことで、鋼がしっかりとかたくなります。



④ 焼戻し

かたくなった包丁はもろくなるので、180度くらいに熱して粘りを出し、刃を欠けにくくします。



⑤ 荒仕上げ

刃のうらと表の厚さをととのえて、刃をすどくとがさせます。(刃の研磨)



⑥ 仕上げ

機械でみがいて、包丁の表面や刃先をきれいにします。(研磨)



⑦ 名入れ

スタンプのような機械で工場のマークを入れます。



⑧ 柄入れ

包丁に柄(持ち手)をつけます。完成した包丁を一本ずつ検査します。



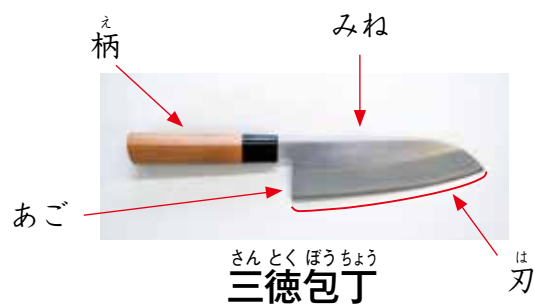
⑨ 箱づめ

検査した包丁に、カバーやシールをつけ、説明書を入れて、箱づめします。



〔3〕包丁各部の名前と種類

〔各部の名前〕



〔いろいろな包丁〕



なっきり 菜切包丁
で ば 出刃包丁
やなぎ 柳刃包丁
さしみ 刺身包丁



三徳包丁
(万能包丁)
ぎゅうどう 牛刀包丁
(シェフナイフ)
ペティナイフ

わ 和包丁

(昔から日本でつくられている包丁)

よう 洋包丁

(外国から入ってきた包丁)

〔4〕工場で働いている人

〔働いている人の一日〕

8時00分		8時10分		12時00分		13時00分		15時00分		15時15分		17時00分	
Aさん	出勤 ラジオリモコン 朝礼		鍛造	昼食・休けい		荒研磨	休けい	荒研磨		箱詰め	帰宅		
Bさん			商品の検査			柄入れ		名入れ					
Cさん			研磨			研磨		名入れ					
Dさん			荒仕上げ			仕上げ		仕上げ					



わたしたちの工場では、40名で製造や出荷などの仕事を分担しながら行っています。1日に三徳(万能)包丁なら300丁くらい、魚用の包丁なら400～500丁くらいつくっています。品物によってできる数がちがいます。

気をつけていること

わたしたちは、包丁を高温の火を使って熱したり、機械を使ってけずったりしています。そのため、けがをしないように、めがねやマスク、ぼうし、エプロン、耳栓など作業にあわせた用具を身につけています。



仕上げ担当の服そう

工場の様子



社長の話

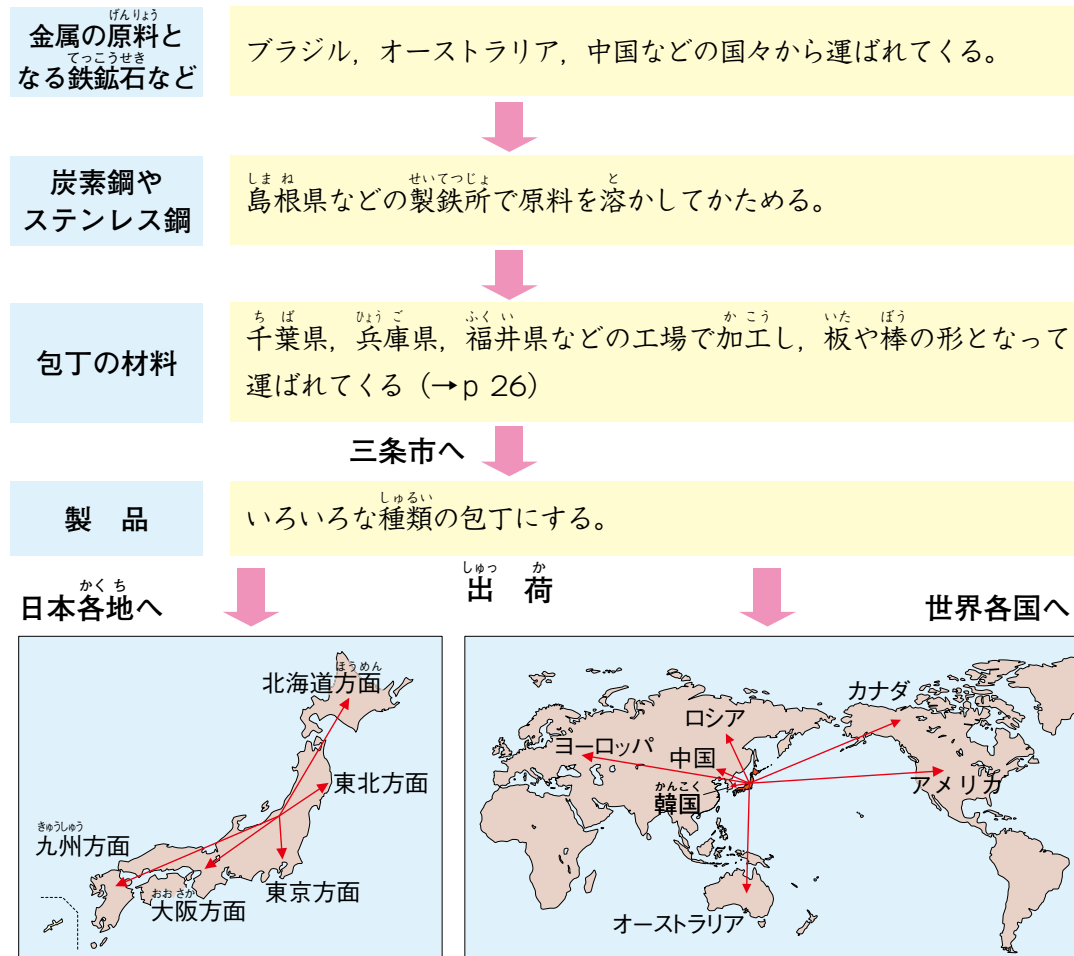
わたしの会社は、75年以上包丁をつくってきました。その間、どんどん包丁が売れたこともありましたが、社会の変化とともに、漁業用や収穫用の包丁が売れなくなったこともありましたが、そんな歴史の中で、わたしたちは使う人の立場で、長く大切に使用いただける道具として、社員とともに包丁をつくってきました。

これからもわたしたちは、世界に通用する三条の「伝統的工芸品」としての包丁づくりを続けていきたいと思っています。今では海外からの注文が増え、海外向けの製品もつくっています。



〔5〕材料はどこから、製品はどこへ

包丁の材料は、おもに炭素鋼やステンレス鋼といわれている金属です。
それは、どこから運ばれてくるのでしょうか。また、つくられた製品はどこへ送られているのでしょうか。



〔6〕製品の売り場をたずねてみよう

ここでは、つくられた包丁が展示されたり、売られたりしています。種類や形、大きさがひと目でわかるように工夫して並べられています。



燕三條地場産業振興センターにある包丁売場

（4）体験してみよう



三條鍛冶道場では、三條鍛冶の伝統を体験することができます。



和釘づくり



今も使い続けられる三條の和釘
2013(平成25)年の伊勢神宮式年遷宮では、三條でつくられた和釘が使われました。



包丁研ぎ
学校でも安全で正しい刃物の研ぎ方を学んでいます。

（5）世界へ羽ばたく三條の製品

三條でつくられる製品は、その品質の良さから、日本国内はもちろん世界各国に知られ、使われています。



箸



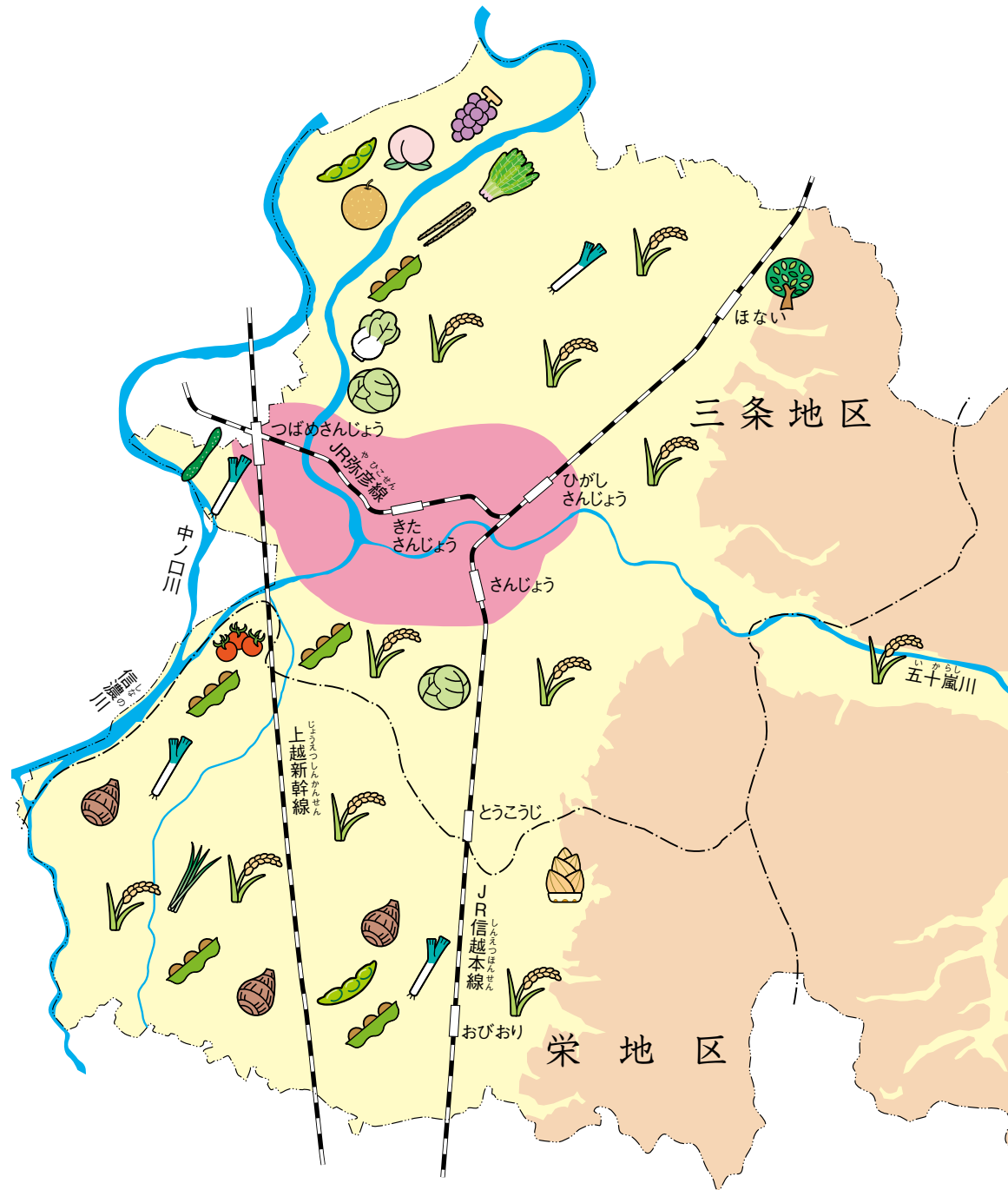
つめ切り



たき火台

4 農家の仕事

(1) 土地と農産物の様子

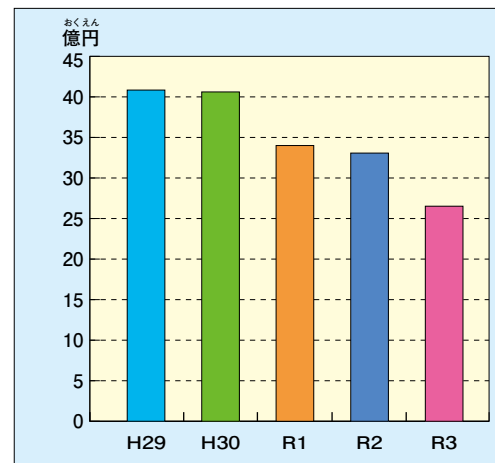


...米	...キャベツ	...そば
...なし	...はくさい	...さつまいも
...もも	...ほうれんそう	...ニラ
...ぶどう	...さといも	...ミニトマト
...たけのこ	...きゅうり	...らっきょう
...長ねぎ	...えだ豆	...ユリ
...ごぼう	...大豆	...植木

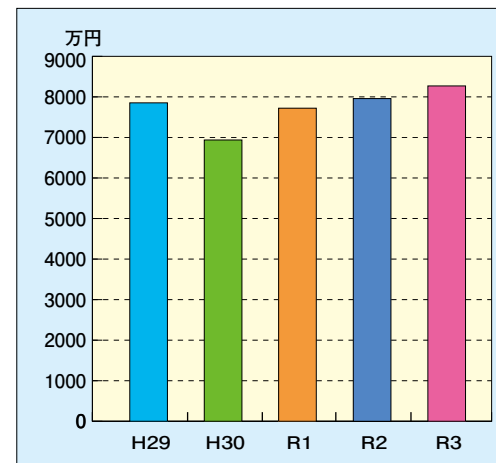


(JAえちご中越 なんかん北宮農センター 農政企画課の資料等により作成)

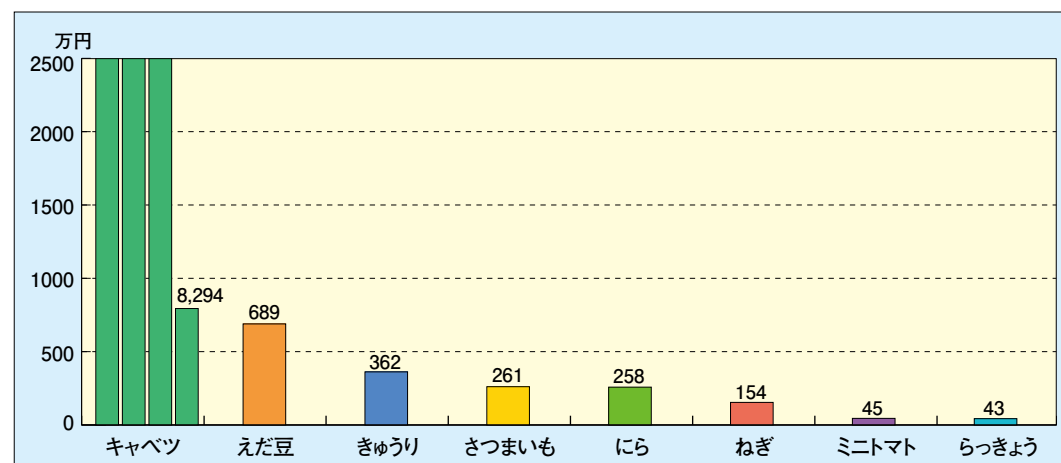
① 米の出荷額のうつきかわり



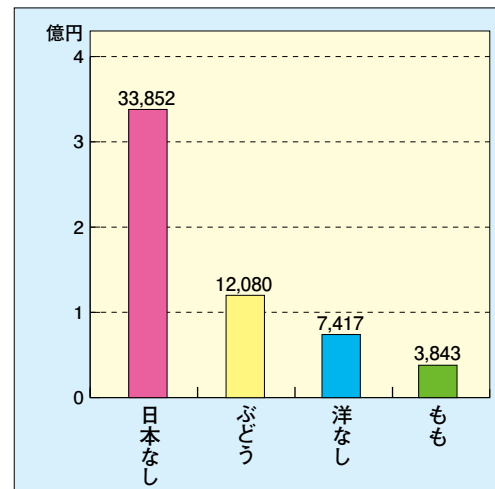
② 大豆の出荷額のうつきかわり



③ 野菜の出荷額 (令和4年)



④ くだもの (なし、ぶどう、もも) の出荷額 (令和4年)



学校の近くでどんな農産物が
つくられているか調べてみよう。
農産物をつくるために、農家の
人はどんな工夫や努力をしてい
るか、どんな願いをもっているか
調べてみよう。



(JAえちご中越 なんかん北営農センター 農政企画課調べ)

(2) 米づくりのさかんな地域

① 本成寺地区



② 井栗地区



③ 金子さんの話

わたしの家では、本成寺地区にある田んぼを中心に米づくりをして
います。ふだんは家族で仕事をしていいますが、田植えなどの忙しい
ときには、ほかの人にもたのんで手伝ってもらいます。

米のねだんが下がってきているので、味のよい米をつくって、高
く買ってもらえるように努力しています。じょうぶな苗づくり、田
植えや稲刈りの時期、肥料の分量、こまめな水の管理、害虫退治な
どに気を配っています。

三条市では主にコシヒカリや、こしいぶき、新之助という種類の
米がつくられています。また、酒をつくるための米
(五百万石) や、もちをつくるための米 (こがねも
ち) もつくられています。ほかに農業をへらしてつ
くった学校給食用の米もあります。みなさんには、
安全でおいしい米をたくさん食べて、元気に育て
ほしいと願っています。



④ 金子さんの米づくりの仕事ごよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
仕事の 内容			苗 づくり	田 おこし・しろ かき	田 植え	水 の 管 理	草 取 り	肥 料 や り	農 薬 散 布	稲 刈 り	も み す り	出 荷

⑤ 苗づくり



⑦ 農薬散布



⑥ 田植え



⑧ 稲刈り



進化するお米づくり

農薬をまくドローンはあらかじめ通るコースを学習しているので、ボタン一つで作業が完了します。広い田んぼも短い時間で作業が済むようになりました。

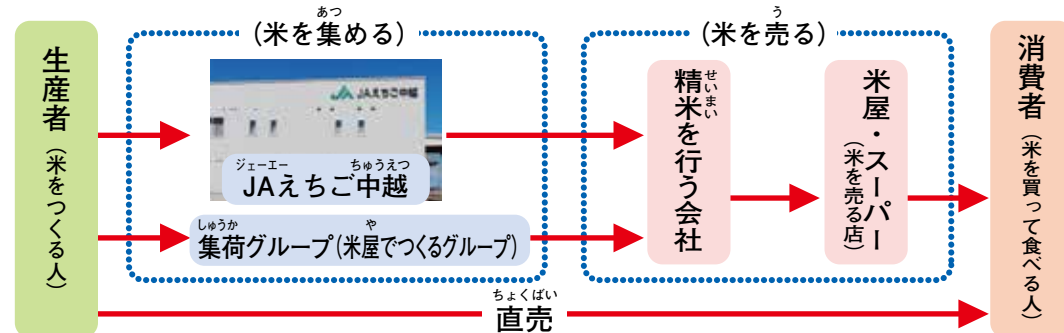
カントリーエレベーターのやくわり



コンバインで収穫された稲は、もみとわらに分けられます。

カントリーエレベーターでは、そのもみを適度にかわかし、そのまま貯蔵します。出荷するときにもみがらははずし、玄米にします。

⑨ 生産者から消費者へ



(3) 大豆づくりのさかなな地域

① 岩坂さんのお話

食生活が変化し、米を食べる量が減っています。そのため、これまで米をつくっていた田んぼの一部でほかの作物をつくるという「転作」をしなければなりません。栄地区では、米に代わる作物を何にするか考え、大豆をつくることにしました。

わたしたちの住んでいる栄北地区では、何けんもの農家が集まって株式会社をつくりました。個人では、広い耕地でたくさんの量の作物をつくるのはとても大変です。そこで、共同で米づくりや大豆づくりをしています。農作業で使う機械を会社が購入し、貸し出しをします。会社が所有していない機械については、所有している農家から借りて作業をしています。防除、刈りとり、打ち返しなどの作業を共同で行ったり、肥料や農薬をまとめて買ったりもしています。



この地区での大豆づくりの特徴が2つあります。1つ目は、広い面積で大豆を栽培していることです。栄北地区だけでも400haもの耕地があります。2つ目は、3年で一巡するローテーションで栽培していることです。連作障害を防ぐために、「大豆→米→米→大豆→米→米…」という順番で栽培します。

② 栄地区にひろがる大豆畑



③ 大豆作りの仕事ごよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	
仕事の内容					除草剤散布	肥料やり	豆をまく	土よせ	育成	防除	育成	刈りとり	畑の打ち返し	来年の作付の準備

(4) くだものづくりのさかんな地域

①枝のせんてい



②花粉づけ



③佐藤さんの話

大島地区では、なし、もも、ぶどうなどのくだものづくりがさかんです。信濃川が運んだ養分の多い土地を利用して、150年くらい前から始まりました。仕事の苦労はたくさんあります。品種ごとに最適な時期に最適な作業ができるように心がけています。しかし、近年、夏の暑さや季節はずれの霜などの異常気象で梨の収穫量が減ってしまうということが起きています。私たち梨農家は、梨の様子に一段と気を配ったり、気候の変化に強い品種を育てたりして対応しているんですよ。前の年の反省を生かして、少しずつやり方を変えながら梨づくりをしています。

その中で、様々な苦労や工夫をして自分の思ったとおりに実が成ったり、味が良いものができたりしたときが一番うれしいですね。



④佐藤さんの仕事ごよみ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
なし（ろじ栽培）	管理がしやすいように 不要なえだを切る	えだが 動かないように、 えだをしぼって たなにつける	えだが 動かないように、 えだをしぼって たなにつける	花粉づけ	てき当な数の実をのこして つみ取る	なしのふくろがけ	水やり		収穫・販売			ル・レクチエ販売
				草刈り	草刈り	草刈り	草刈り	草刈り				
				防除（重点期間はこまめに行う）	防除							

※佐藤さんは、様々な品種の和梨・洋梨を育てているほかに、桃や米も育てています。

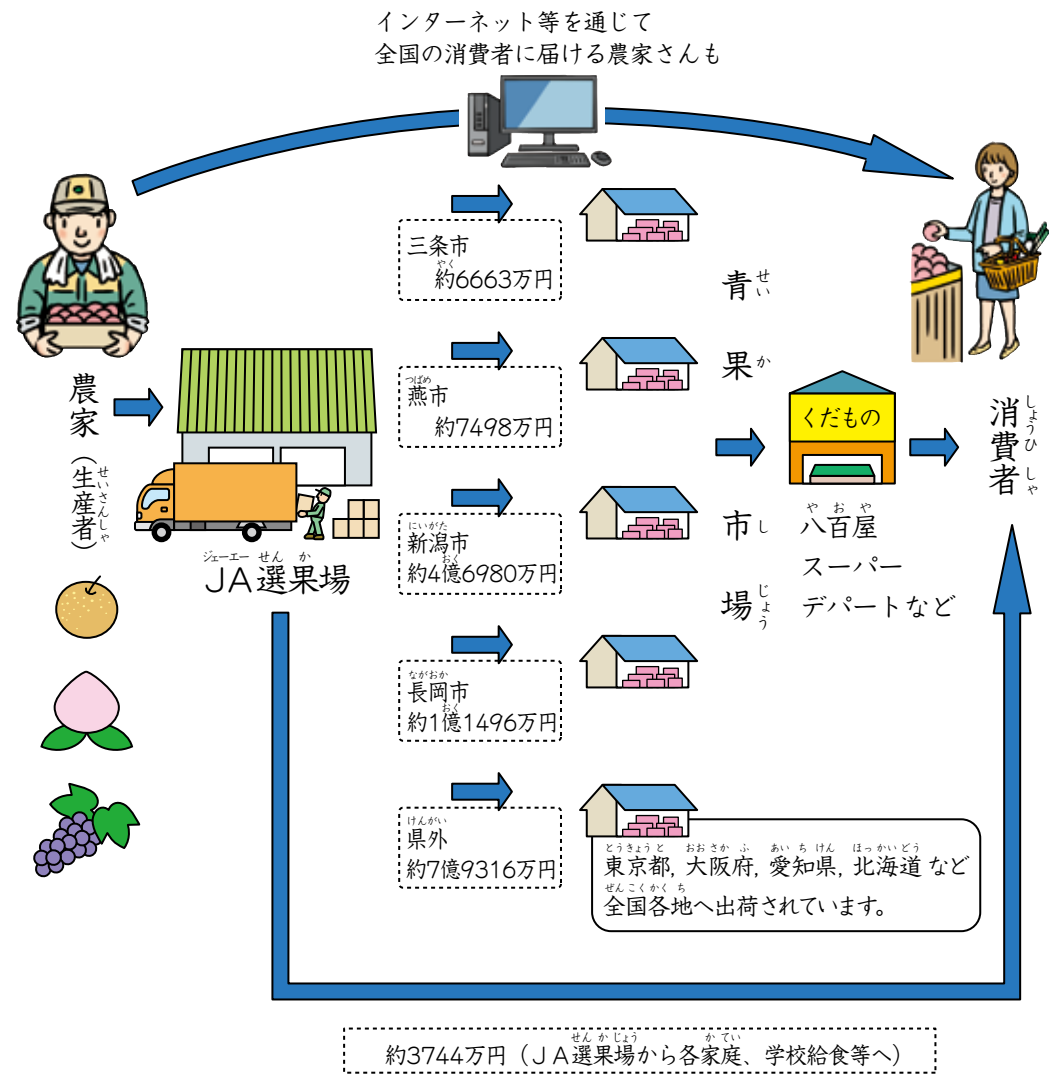
⑤ふくろがけ



⑥収穫



⑦くだもののゆくえ



（令和4年 JAえちご中越 なんかん北営農センター 農政企画課調べ）

(5) 野菜づくりのさかんな地域

①信濃川ぞいのキャベツ畑



②キャベツの出荷



③伊部さんの話

栗林や石上などの地区では、信濃川が運んだ養分の多い土地を利用して、野菜づくりがさかんです。

わたしの家では、ほかの農家があまりつくらなような野菜を選んで育てています。最近では、同じ野菜でも種まきの時期をずらして、長い期間、とり入れができるようにしています。

そのため、一年中いろいろな仕事があり、6月ころは夜中の2時から働くこともあります。あととりがいなくて困っている農家が多い中で、若い従業員ががんばって働いてくれるので、仕事が前より少し楽になりました。

また、農産の種類や量などの情報公開（トレーサビリティ）を実施して、お客様に安心して野菜を食べてもらうことを心がけています。



④伊部さんの仕事ごよみ

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャベツ	とり入れ		種まき・育成			とり入れ		種まき・育成		とり入れ		
しょうが	別の畑では、とり入れの時期がずれるように種まきの時期をずらします。											
えだ豆			種まき・育成			とり入れ						

(6) さつまいもづくりのさかんな地域

①下田地区のさつまいもの収穫



②熊倉さんの話

わたしの経営する「むつみ農園」では、10種類以上のさつまいもをつくっています。下田の鉄分をふくんだ赤土は、さつまいもの栽培に適しています。さつまいもは6月に苗を植え、10月に収穫します。

量が多いので、いもほり機を使って収穫します。ほったさつまいもは、数か月ねかせて熟成させてから直売所やスーパー、朝市などで販売します。給食にも使われています。

品質のよいさつまいもを出荷し、「むつみさんのさつまいもはとてもおいしいです。」と言われるのが何よりうれしいです。環境にやさしい農業を目指し、除草剤の代わりに米ぬか、防虫剤の代わりに食用酢を使用してます。

(7) 庭づくりのさかんな地域

①植木の手入れ



②齊藤さんの話

保内の植木づくりは、今から300年くらい前に、つぼ庭に植えるつぼ木づくりから始まったと考えられています。

今では植木をつくる人はかなりへってしまいましたが、庭や公園

をつくる仕事はさかんに行われています。植木の色や高さの組み合わせによって、いろいろな庭ができますが、美しくできたときは、この上ない喜びがあります。また、自宅の庭を自由にご覧いただくオープンガーデンの取組も行っています。人は緑の木や美しい花を見ることで心がいやされ、新しい力がわいてくるので、とてもやりがいのある仕事だと思います。

5 火事からまちを守る

(1) 三条市の火事

①おそろしい火事

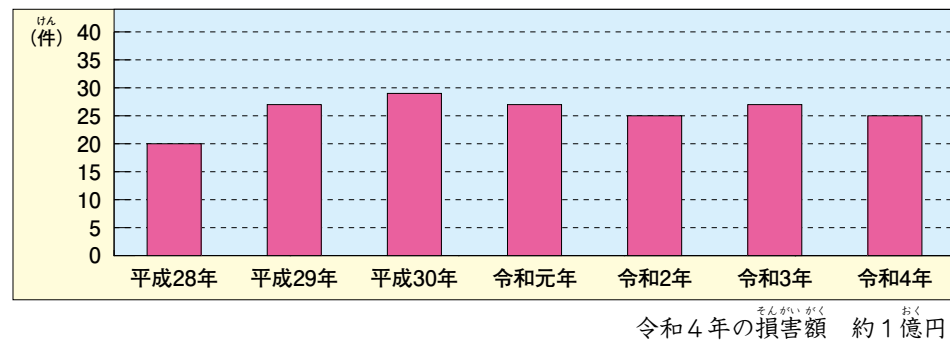
にげおくれた
人やけが人は、
いないのかな？
どうして火事にな
ったのかな？



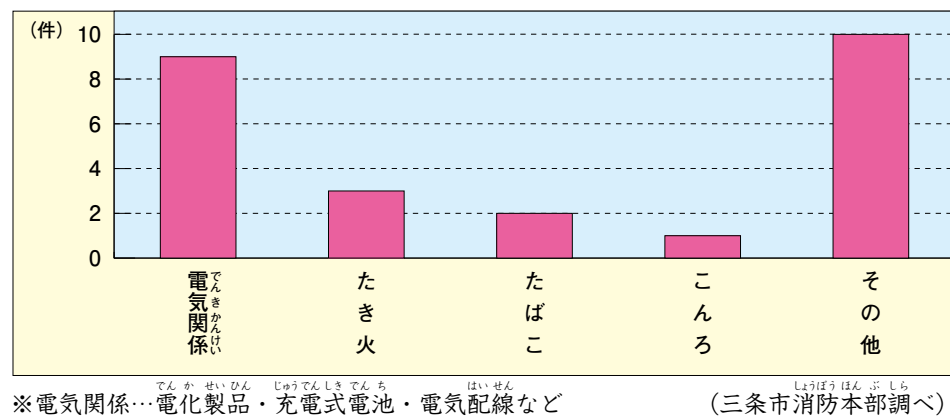
早く消
さない
とたい
へんだ
ぞ。



②火事のおきた数



③火事の原因 (令和4年)



(2) 学校や地域の消防しせつ

学校や地域の消防しせつをさがしてみよう



火災報知機 (受信機)



消火器・火災報知器 (発信器)・屋内消火栓



熱感知器



防火とびら



非常階段



非常階段



誘導灯

学校にはいろんな
消防しせつがあるね。
どんな場所にある
のかな？



わたしたちの住
む地域にもこんな
ものがあつたよ。



積載車とポンプ置場



防火水槽 (この下に水がためてある)



消火栓

(3) 消防署の見学

① 消防車の出動



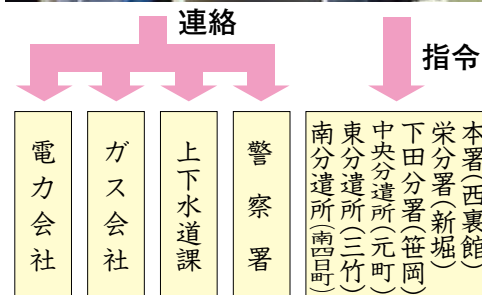
119番



三条市消防本部から指令を出す

② 通信指令室から連絡する所

- 警察署…火事の現場で、交通整理をしたり、火事の原因を調べたりします。
- 電力・ガス会社…ひがいを広げないように危険な電気やガスを止めます。
- 上下水道課…消火栓の水がよく出るように調整してもらいます。
- 消防団…大きな火事になると出動してもらい、消防隊員と協力して消火します。
- 市役所…火事の場合を知らせます。
- 近くの消防本部…大きな火事になると応援に来てもらいます。



準備



出動



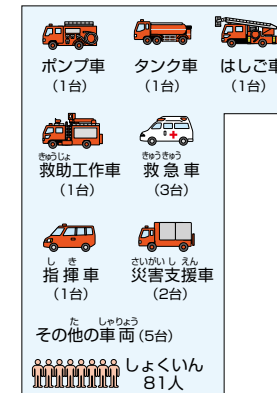
③ 消防署長さんの話

職員がきんむするところは三条市には6か所あります。消防本部は三条市の第二産業道路沿いにあります。また、栄分署、下田分署の二つの分署があります。分遣所は町の中心に1か所、周辺部に2か所あります。

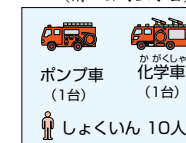
火事の119番を受けた通信指令室は、火元の名前、町名、目じるしになる建物などを聞き、放送で本署、分署、分遣所に出動の指令を出します。職員は指令があると仕事を中断し、防火服を着て消防車に乗って出動します。指令から出動までおよそ55秒です。また、消防団（ふだんは会社や店などで働き、火事的时候にはかけつけて消火活動をする人たち）、警察署、上下水道課、ガス会社、電力会社にも連絡して協力してもらいます。

④ 市内の消防体制

① 消防本部・消防署 (三条市西裏館三丁目)



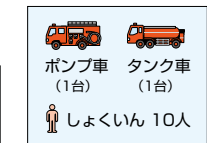
⑥ 南分遣所 (南四町三丁目)



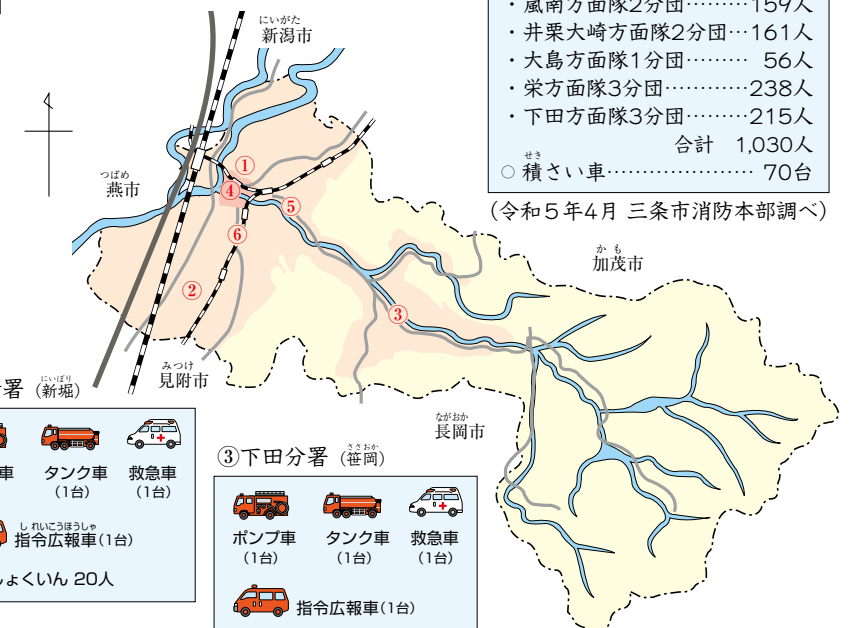
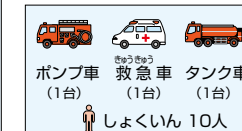
○ 水利しせつ

- 消火栓……2,501か所
- 防火水槽……432か所

④ 中央分遣所 (元町)



⑤ 東分遣所 (三竹一丁目)



○ 消防団

- 三条市消防団
- ・ 団長……………1人
- ・ 副団長……………1人
- ・ 女性消防隊……………20人
- ・ 学生消防隊……………60人
- ・ 嵐北方面隊2分団……………119人
- ・ 嵐南方面隊2分団……………159人
- ・ 井栗大崎方面隊2分団……………161人
- ・ 大島方面隊1分団……………56人
- ・ 栄方面隊3分団……………238人
- ・ 下田方面隊3分団……………215人
- 合計 1,030人
- 積さい車……………70台

(令和5年4月 三条市消防本部調べ)



大きな火事や災害が起きたときには、近くの市や町の消防署からも出動して、協力しながら活動するやくそくをしているんだ。

⑤ 消火栓の点検



⑥ 救助訓練



⑦ 消火訓練



⑧ 消防設備の検査



学校の近くにある消火栓や防火水槽などを実際に見てきて、地図に書き入れてみよう。

学校の防火しせつはどうなっているか、調べてみよう。

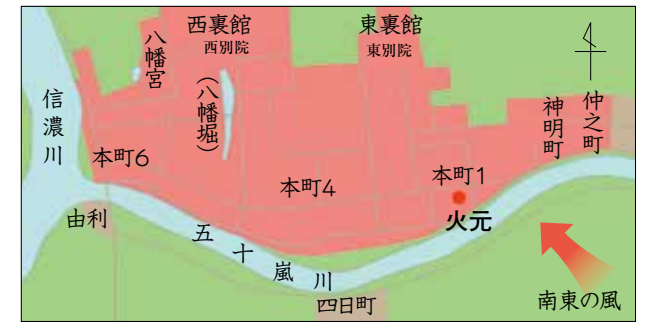


(4) 火事で苦しんだ三条

火事は家や家具などを焼きつくしてしまうため、昔からおそれられていました。燃えやすい石置き屋根のある木造の家が多く、夜はランプ、ろうそくなどの灯りをつけ、台所でも薪などを使って炊事をしていたため、不注意で火事が起きることがありました。

三条では春先の4月や5月ころは、乾燥したあたたかい南東の風が吹く日があります。こんな日に火事が出ると、よその家に燃え広がって大火事になります。昔は今のよう消防の設備がなく、大きな火事になると風下の家をこわして火をくいどめました。

明治時代も多くの大火があり、中でも、1880（明治13）年5月21日の大火は糸屋万平火事とよばれ、もっとも大きな火事でした。この日も南東の風が吹き、午後1時ころ本町一丁目から火が出



明治13年の糸屋万平火事で焼けた所（荒木常能氏作図）

て、風下の本町六丁目まで焼きつくし、さらに裏館、石上、栗林まで燃えました。風上の神明町、仲之町なども焼け、全部で34人がなくなりました。

明治時代になると腕用ポンプ、大正時代に蒸気ポンプという機械も使われるようになりました。また、電灯が使われ始めたこともあり、このような大火事はなくなりました。



明治～昭和30年代に使われた腕用ポンプ（三条市蔵）

明治時代の大火

明治 2 (1869) 年 5 月	甚六火事	上町 (本町一丁目) から出火して、1600戸が焼けた。
明治 13 (1880) 年 5 月	糸屋万平火事	上町 (本町一丁目) から出火して、2743戸が焼けた。
明治 20 (1887) 年 10 月	からかさ屋火事	四ノ町 (本町六丁目) から出火して、368戸が焼けた。
明治 23 (1890) 年 4 月	いか屋火事	四ノ町 (本町六丁目) から出火して、176戸が焼けた。
明治 28 (1895) 年 11 月	江口楼火事	本寺小路 (本町二丁目) から出火して、307戸が焼けた。
明治 29 (1896) 年 6 月	近藤タセ方火事	林町から出火して、189戸が焼けた。
明治 30 (1897) 年 6 月	ランプ屋火事	古城町 (本町五丁目) から出火して、376戸が焼けた。

6 事故や事件からまちを守る

(1) 交通事故をふせぐ

〔1〕おそろしい交通事故

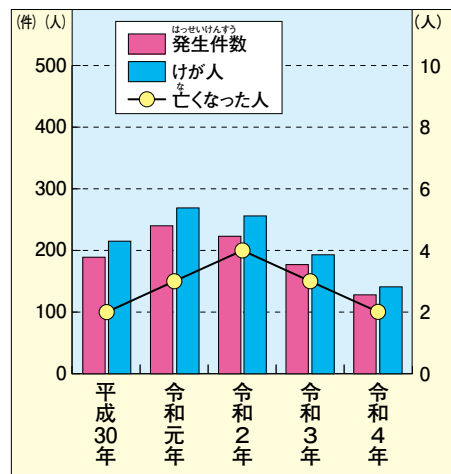


自動車^{じどうしゃ}がこわれてるわ！
スピードの出しすぎかしら…？
の
乗っていた人は、だいじょうぶなのかな？

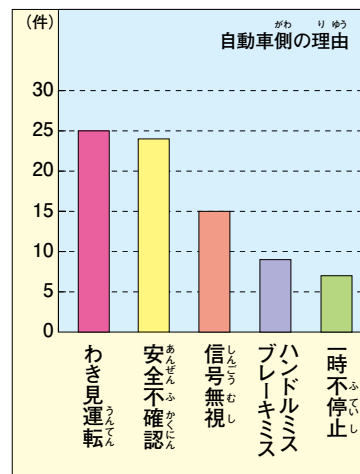


〔2〕三条市の交通事故

① 三条市の交通事故の様子^{ようす} (令和4年)



② 三条市の交通事故の原因^{げんいん} (令和4年)

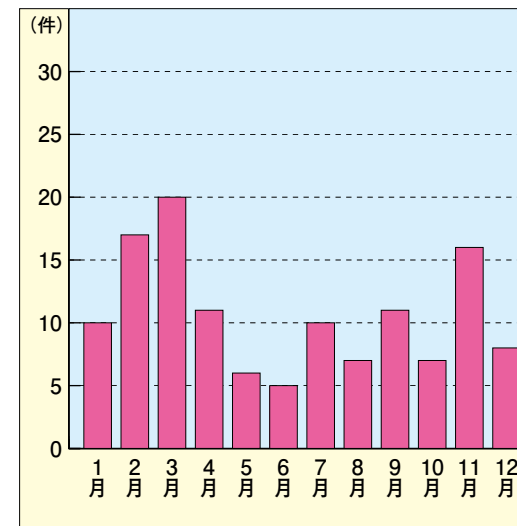


(三条警察署調べ)

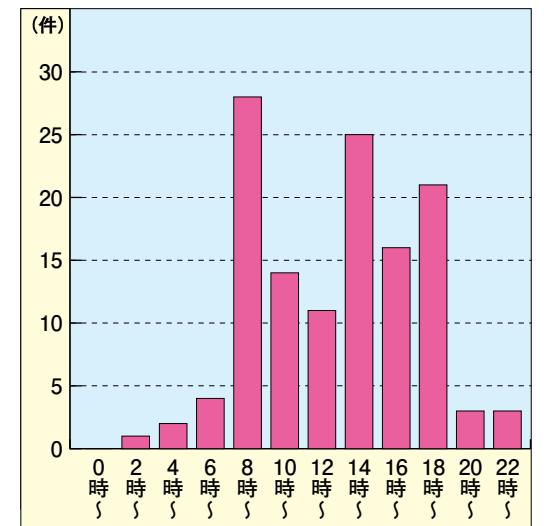
令和4年の三条市の交通事故の中で、子どもの事故は2件、自転車の事故は13件です。



③ 交通事故の月別発生数^{つきべつ はっせい} (令和4年)



④ 交通事故の時間別発生数^{じかんべつ はっせい} (令和4年)



(三条警察署調べ)

〔3〕交通事故をふせぐせつび

① 歩行者用信号機^{しや き}

何のために赤いめもりはあるのだろう。

② 交通標識と歩行者用道路^{ひようしき}

何を表す標識かな。黄色のタイルは何だろう。

③ グリーンベルト

道路のはしが緑色になっているのはなぜだろう。



(三条郵便局前交差点)

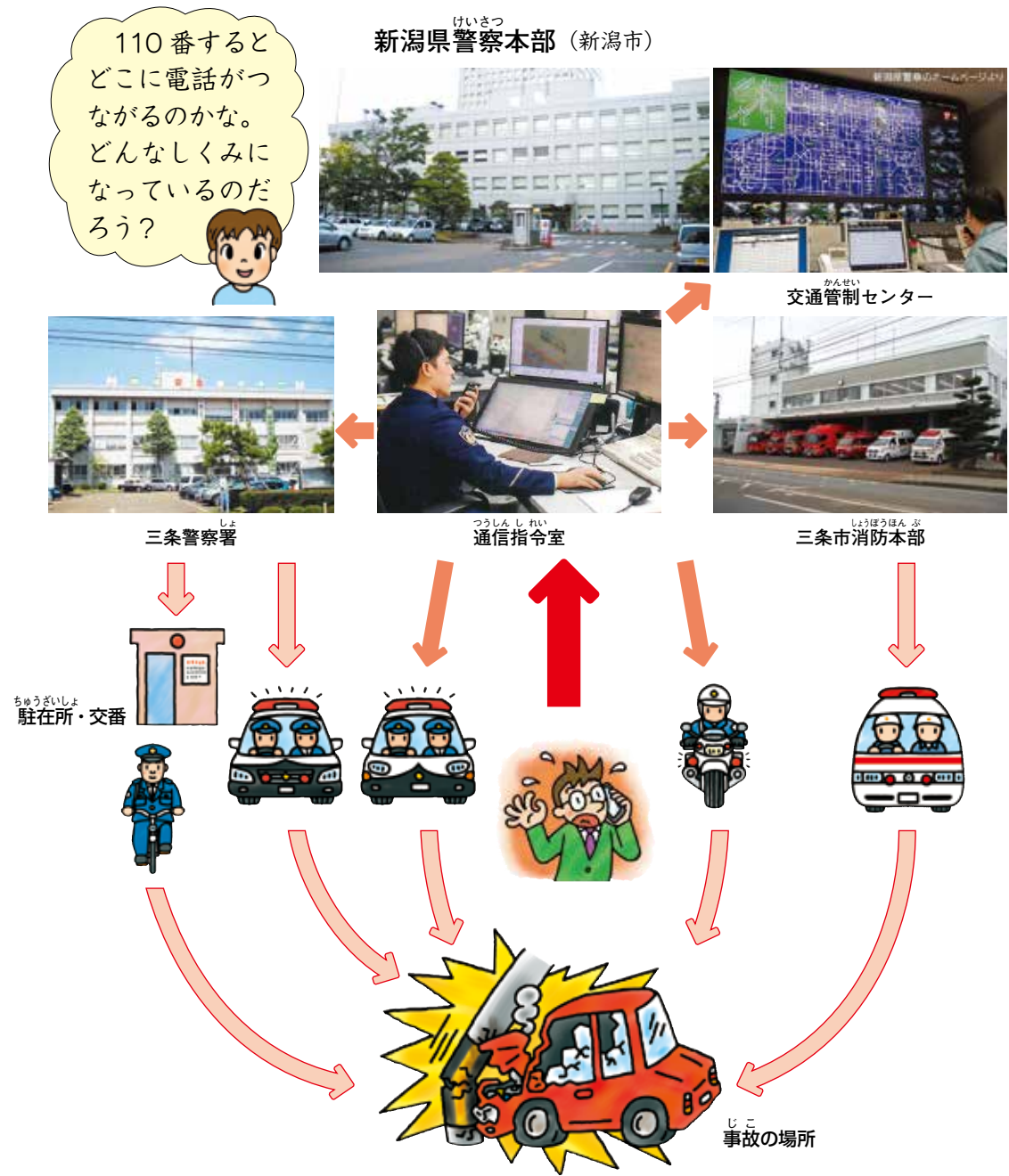


(市役所前歩道)



(裏館小学校前道路)

(2) 110 番のしくみ



みなさんからの110番の電話は、警察本部の通信指令室につながります。通信指令室は、すぐ近くの警察署や事故・事件現場の近くにいるパトカーなどに無線で連絡し、警察官が現場に向かいます。

(3) 駐在所の警察官の仕事

① 交通指導



② 道案内



③ 落とし物の受け取り



④ 地区の家庭訪問



⑤ 地区のパトロール



⑥ 事故や事件への出動



7 三条市の人々のくらしのうつり変わり^か

(1) 昔のくらしの道具^{むかし どうぐ}

昔のくらしの道具をさがしに、三条市歴史民俗産業資料館^{れきし ぶんぞくさんぎょう しりょうかん}に行ってみました。

明治時代^{めいじ じだい}から昭和のはじめ^{しょうわ}まで使^{つか}っていたものがありました。

今使っている道具と、どこがちがうでしょうか。



歴史民俗産業資料館（本町）



はがま
羽釜



おひつ



すいはんき
炊飯器



とうきせい
陶器製の湯たんぽ



アイロン



き
電話機



ラジオ



ラジオの中

下田郷資料館^{ごう しりょうかん}（ウェルネスした内）には、農家^{のう か}の家の中の様子^{ようす}が展示してありました。

いろいろな道具^{どうぐ}があります。どうやって使^{つか}ったのでしょうか。



ウェルネスした（飯田）



ど
土間



かさ
笠・みの・もっこ
こすき など



しめほ
干しかご



ちぐら



い
居間



えん
円座



すみ
炭箱



火
鉢



箱まくら



ね
寝間



あんどん



よぎ
夜着・わらふとん・箱まくら

(2) 三条にのこる昔^{むかし}

三条地区^{ちく}

①八幡宮と大名行列^{はちまんぐう だいみょうぎやうれつ}

八幡宮は、885年に、京都から神様をおむかえして建てられたと伝えられており、三条を代表する神社です。大名行列は、毎年5月15日の八幡宮の祭りで行われます。行列は古くから行われていましたが、1822年から今のような形になったそうです。

毛槍を持った奴さんが行列の先頭をつとめ、次に大鉾が続きます。一本歯の高い足駄をはいた天狗様は有名です。この日はまちをあげてお祭り気分になります。



②三条夏まつり

三条夏まつりは、8月上旬に行われます。小学生による凧揚げや踊りや市民民謡踊り流し、夏神輿や花火大会などがあります。



③本成寺の鬼おどり

本成寺は、1297年に開かれました。毎年、2月3日の節分に行われる鬼おどりは、鬼たちが大きな声を上げて、鋸や斧などの金物を持ってあばれまわります。最後は大勢で豆をなげつけて鬼を追い払い、平和と安全を祈ります。



栄地区

①東山寺の木造四天王立像（小滝）^{とうざんじ もくぞう し てんのうりゅうぞう こたき}

見附市に接する小滝には1248年に開かれたという東山寺があります。山門にある四天王像は、高さが2m以上あるりっぱな像です。四天王というのは仏様の世界を守る神様で、よろい^{いじょう}で身をかため、持国天は東、増長天は南、多聞天は北、広目天は西を守っています。



持国天（東）



広目天（西）



増長天（南）



多聞天（北）

②栄神楽^{さかえかぐら}

栄地区の神社で、春と秋の祭りに舞われる神楽です。200年ほど前から受けつがれてきたという、33の舞が伝えられています。豊作への願いや、平和への祈りをこめて舞われています。



栄神楽の稚児舞（彌彦神社にて）

③吉野屋遺跡^{よしのや いせき}

吉野屋遺跡は、昔の人たちが住んでいた場所で、今から5千年ほど前の縄文時代中ごろに大きな村があったことが分かります。ほり出されたものは、昔の人たちが作ったものです。



お祈りに使った土偶（土の人形）
（撮影 小川忠博 氏）

ちく 下田地区

①五十嵐館跡（飯田）



今から800年ほど昔、力を
もった武士が日本の各地を支配
するようになっていました。武
士はふだんは平地の館に住み、
近くの丘や山に城をきずいて、
戦いにそなえていました。飯田
には、下田地区に勢力をもって
いた五十嵐氏の館跡がのこって
います。

②千手観音菩薩坐像（院内・最明寺）



最明寺観音堂にまつられてい
る千手観音像は、800年ほど前
につくられました。千の手を持っ
て、人々を救うといわれています
が、このようにすわっている像は
めずらしいということです。

③中浦歌舞伎



飯田小学校児童による中浦歌舞伎の練習風景

中浦歌舞伎は、江戸時代の終わ
りごろに地元の人たちによって始
められたといわれています。当時使
われていた、衣装や大道具、小道
具、台本などが200年ほどたった
今でも数多く残されています。これ
らの資料は、三条市内でこの中浦
地区にしか確認されていません。

(3) 暮らしのうつり変わりと新しい三条市へ

三条に人が住み始めたのは、今から1万年くらい前と考えられてい
ます。このころは、五十嵐川にそった小高い丘に人が住んでいたよう
です。

今から1200年前くらいになると、池や沼の一部が田につくり変えら
れ、それにつれて信濃川や五十嵐川にそった平地にも人が住むようにな
ってきました。

〔1〕大水と金物

五十嵐川が信濃川に流れこむ所にひらけた三条は、昔からたびたび
大水の被害にあいました。田畑を流された農家の人たちは、暮らしを
守るために「家釘（和釘）」をつくり出しました。代官所奉行の大谷清
兵衛は、和釘づくりを後おししました。これが三条の金物づくりの始ま
りといわれています。その後、商人や鍛冶
職人の人たちの努力によって、全国でも
有名な「金物のまち」となりました。



〔2〕川の交通と信越本線の開通

昔は、人や物を運ぶのに船が多く
利用されました。三条は、五十嵐川
と信濃川の二つの大きな川が出合う
交通の要所として、各地から多くの
船が出入りし、人や物の集まる所と
して大変にぎわいました。特に、五
ノ町（今の本町六丁目）は、三条川
港があり、三条でいちばんにぎやか
な所でした。



川蒸気船

1897(明治30)年に北越鉄道(今のJR信越本線)が開通して一ノ木戸駅(今の東三条駅)ができ、翌年には、三条駅、帯織駅ができました。それによって、新潟、長岡方面に汽車で行くことができるようになりました。鉄道ができると、それまでたくさん利用されていた川船がしだいにへり、それにかわって鉄道が利用されるようになってきました。

そして、まちの中心は、川港として栄えた五ノ町(本町六丁目)から、駅に便利な大町や二ノ町(本町二丁目、四丁目)にうつってきました。



鉄道ができて、
人々の暮らしはどう
変わったのかな。



〔3〕石油が噴出した大面油田

新潟県には石油や天然ガスがうまっている油田がたくさんあり、1917(大正6)年の3月には、栄地区北潟の大面油田で石油が大噴出しました。当時は1日にドラム缶5000本分もの石油が出て、子どもたちが石油をくんで、会社に行き行くすがたも見られました。

しかし、出てくる石油の量はしだいに少なくなり、1963(昭和38)年に閉山となりました。



〔4〕上水道ができて

1933(昭和8)年、三条にはじめて上水道が引かれました。水は、五十嵐川から取りました。それまでは、人の力やモーターの力で、川の水をくみあげて利用したり、井戸水を利用したりしました。川には「カワド」といって、板でつくった水くみ場がありました。

上水道の工事



昔の人の話

上水道ができる前は、毎朝4時か5時に起き出して、五十嵐川へ飲み水をくみに行ったものです。五十嵐川には、いくつもカワドができていて、大勢の人が水をくんだり、米をといだり、野菜を洗ったりしていました。

朝の水くみは女の人の仕事で、川の水がにごればくめないし、夏になって水がへると、川のまん中まで行ってくまなければなりません。そんなときのために、どの家でも大きな「水がめ」に2、3日分の水は、用意していたものでした。



〔5〕新しい三条へ

三条は、時代が進む中でしだいに大きくなり、まちの様子も変わってきました。

一ノ木戸村、裏館村、栗林村などが三条町に合併し、1934(昭和9)年1月1日には「三条市」となりました。また、長沢村・森町村・鹿峠村が合併して、「下田村」になり、大面村と福島村が合併して「栄村(のちに栄町)」になりました。

1978（昭和53）年には、北陸自動車道（新潟～長岡）が開通し、
「三条燕インターチェンジ」がつけられました。また、1982（昭和57）年には、上越新幹線（新潟～大宮、今は新潟～東京）も開通し、
インターチェンジの近くに「燕三条駅」がつけられました。これらの周辺地域は、計画にもとづいて開発が進められ、大きく発展しました。

上越新幹線燕三条駅・北陸自動車道三条燕インターチェンジ付近

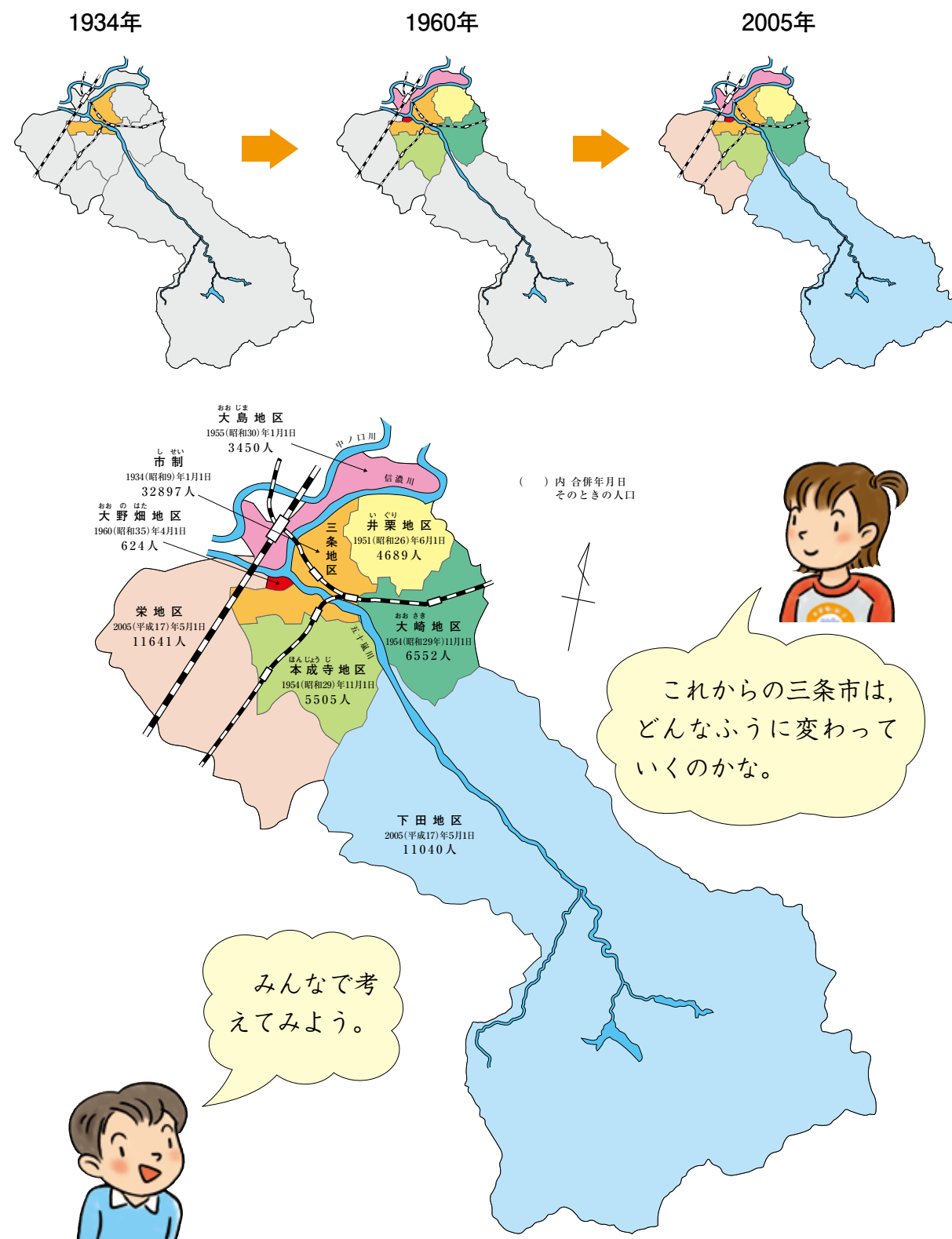


2005（平成17）年5月には、三条市と栄町、下田村が合併し、三条市は、さらに大きく広がりました。そして、もとの3市町村のよいところを生かしたまちづくりが進められています。



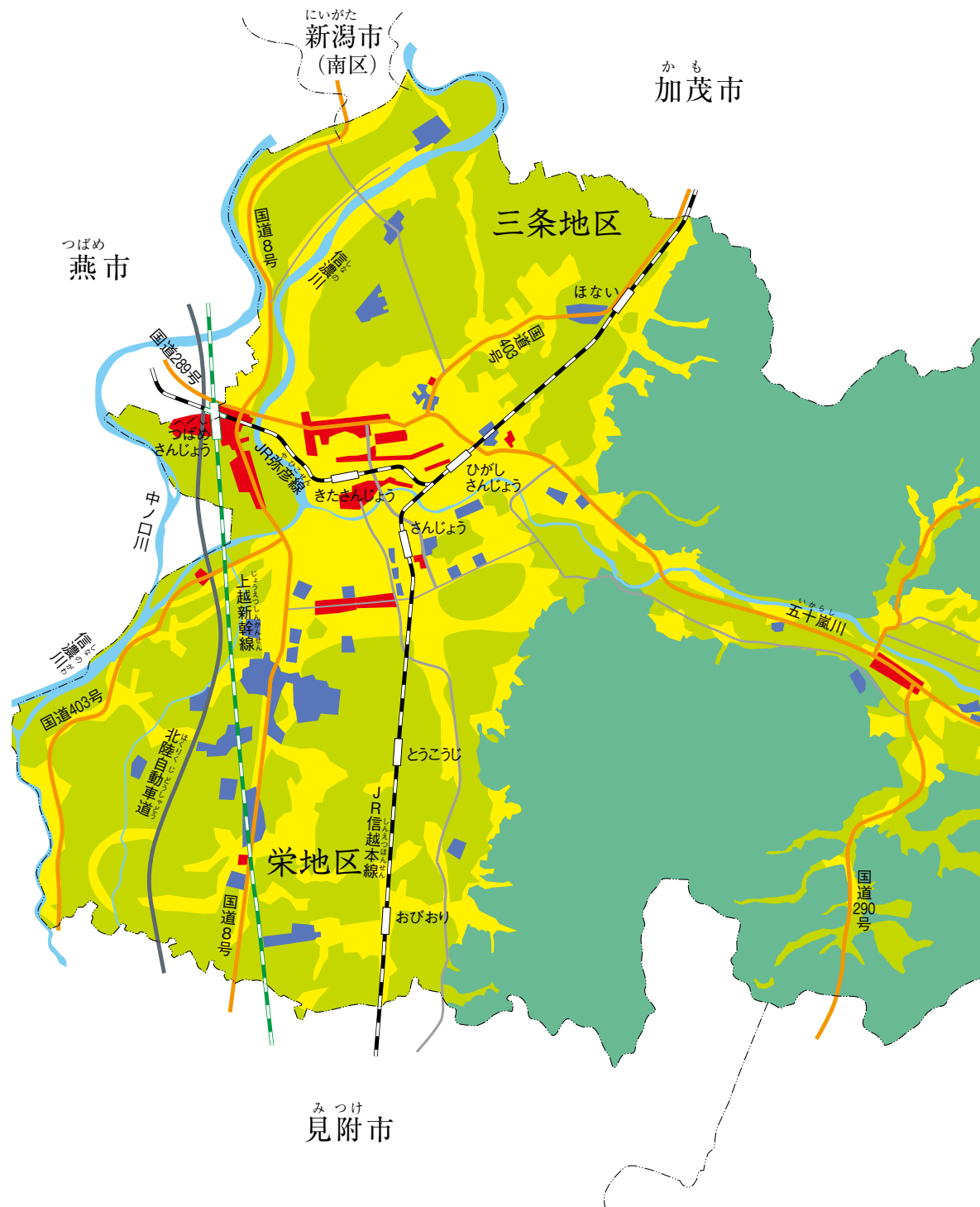
三条・栄・下田地区のそれぞれのよいところは何か。話し合ってみよう。

広がっていった三条市

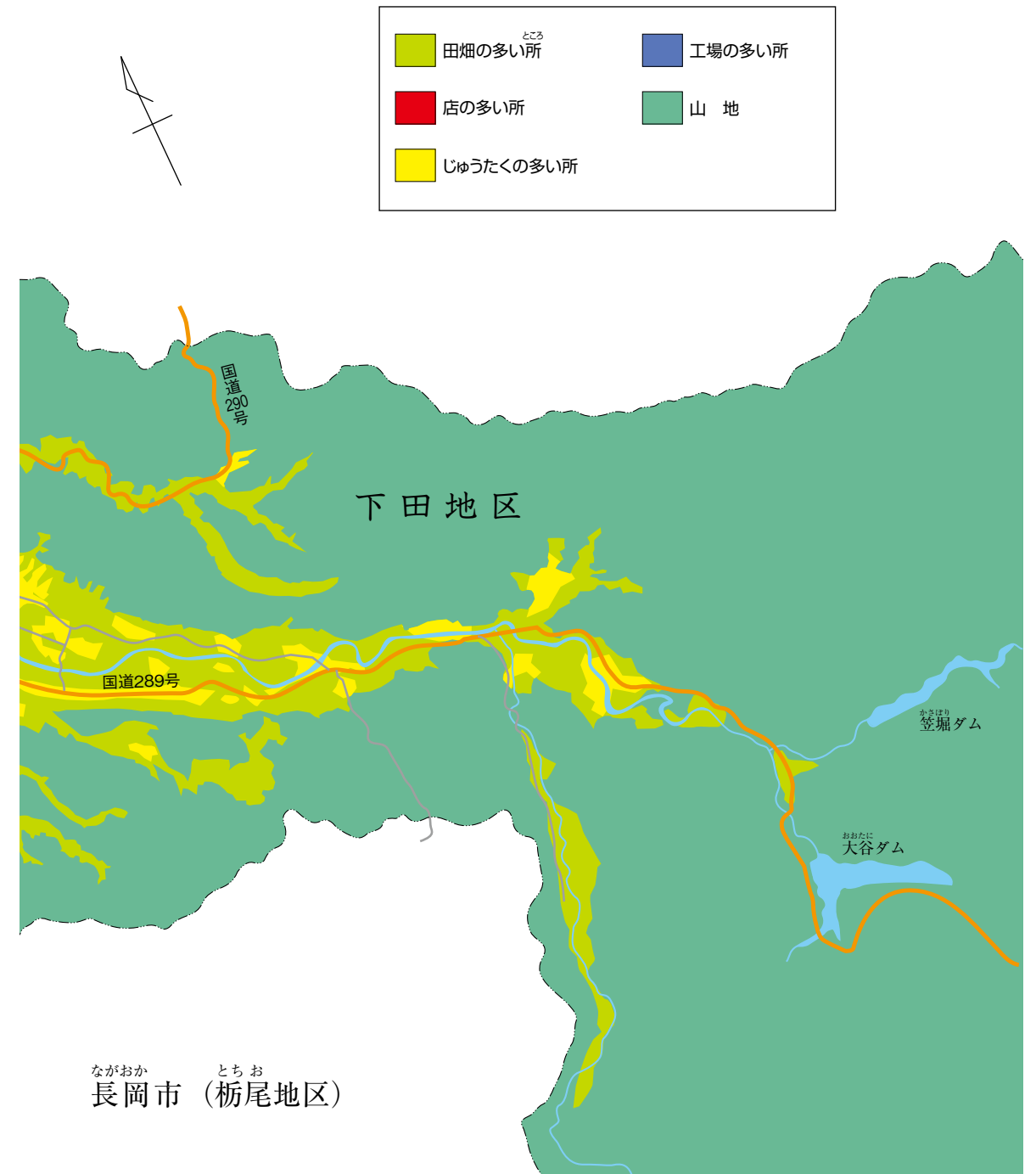


8 わたしたちのふるさと 三条

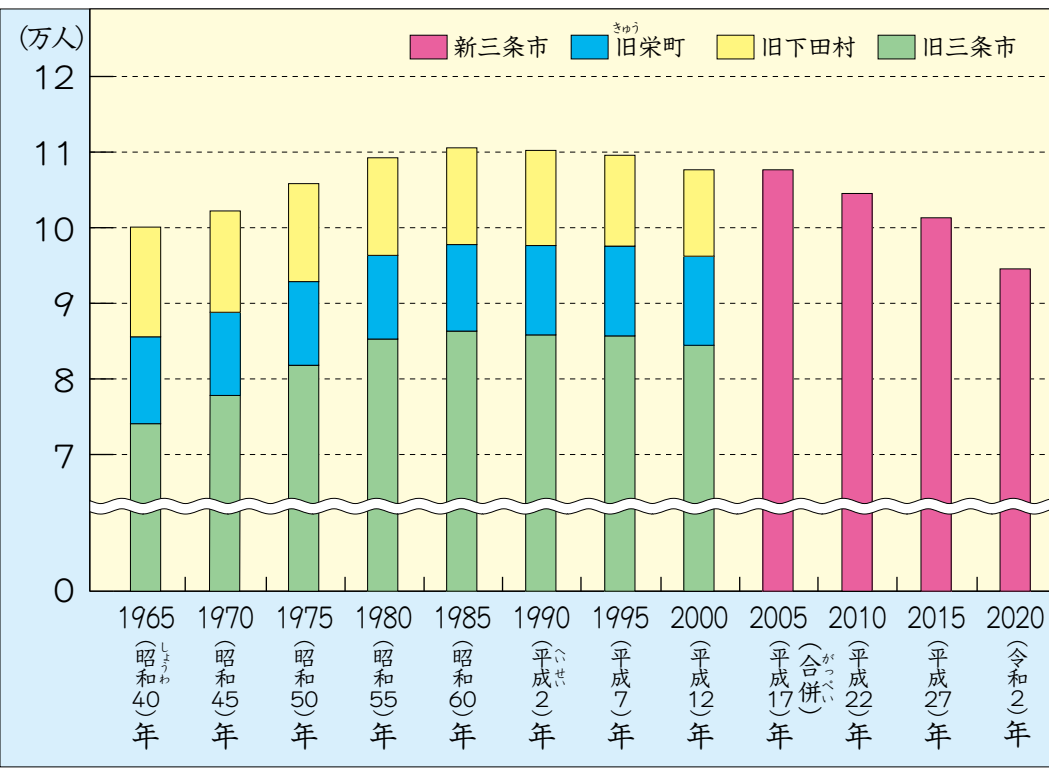
(1) 三条市の土地利用の様子



市の土地の様子がどのようなになっているか、調べてみましょう。



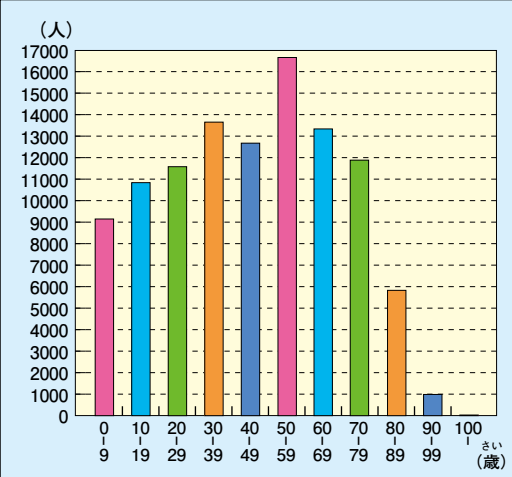
(2) 人口のうつり変わり



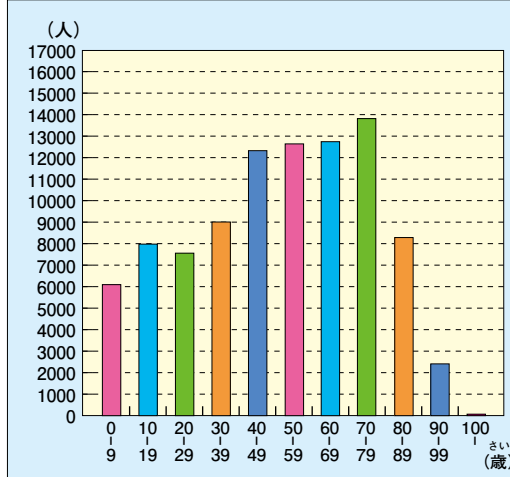
(国勢調査, 市役所調べ)

(3) 年齢別人口のうつり変わり

年齢別人口 (平成19年)



年齢別人口 (令和5年)



(市役所調べ)

(4) くらしを豊かにする所

どんなときに、どのしせつを使えばよいのか考えましょう。

① 総合福祉センター

② すまいるランド

③ あそぼって

④ 体育文化会館

⑤ まちやま

⑥ 三条・燕総合グラウンド

⑦ 三条パール金属スタジアム (市民球場)

⑧ いい湯らてい

⑨ 槻の森運動公園

9 わたしたちのくらしとごみ

(1) 三条市のごみ収集

〔1〕ごみ収集のうつり変わり

いつ	ことがら	ごみの分別・収集のしかた
1886(明治19)年	三条町を中心に収集が始まる。	
1938(昭和13)年	嘉坪川に塵芥焼却場ができる。	
1967(" 42)年		燃えるごみ週3回、燃えないごみ年4回
1971(" 46)年	道心坂最終処分場でうめ立てを始める。	燃えないごみが月1回になる。
1973(" 48)年	旧清掃センター第一ごみ焼却しせつが運転を始める。	
1975(" 50)年		燃えないごみが月2回になる。
1980(" 55)年	旧清掃センター第二ごみ焼却しせつと粗大ごみ処理しせつができる。	
1985(" 60)年		資源ごみ(空きビン)、有害ごみ(使用済み電池)を加えた4分別になる。
1999(平成11)年	旧三条市で9分別収集を実施する。	ごみの分別が9分別になる。
2003(" 15)年	粗大ごみの戸別収集を始める。	ごみぶくろが有料になる。
2005(" 17)年	旧三条市、栄町、下田村が合併し、新しい三条市となる。	(燃えるごみ・燃えないごみ)
2012(" 24)年	今の清掃センターが運転を始める。	
2020(令和2)年	最終処分場が桑切にうつる。	
2022(令和4)年		ごみの分別が12分別になる。

〔2〕今の三条市のごみ収集 (令和5年度)

家庭に配られるお知らせとごみカレンダーをよく見て、きめられた日に、きめられたごみの集積所に出します。
ごみは正しく分別して、まちがわないうように出しましょう。

12分別のごみ収集	
ごみの種類	収集回数
①燃えるごみ	週3回
②燃えないごみ	月2回
③ペットボトル	月1回
④ガラスビン	月1回
⑤空き缶	月2回
⑥新聞(チラシ)	月2回
⑦段ボール	
⑧紙パック	
⑨雑誌・その他の紙	年2回 (5月・11月)
⑩蛍光管	
⑪乾電池	
⑫小型充電式電池	

〔3〕ごみの出し方

令和5年度
三条市

家庭

ごみの分け方・出し方

ごみステーションに出す(分別して朝8時までにしだすてくさい)
※決められたごみステーション以外にはしだすせん。※事業所のごみ(園業ごみをさむ)はしだすせん。
※適成ごみシールが貼られたものは回収しだせんので、持ち帰って適正な方法で処分しててくさい。

粗大ごみの戸別収集は裏面を見てね

区分・分別マーク	出し方	主な種類と注意事項
燃えるごみ	燃えるごみ用の指定袋に入れる	生ごみ リサイクルできない紙くず プラスチック製品 発泡スチロール ビデオテープやカセットテープは指定袋に3個まで 衣類・繊維製品、革製品 必ず使い切って屋外で穴を開けて、ライターは完全にガス抜いて
燃えないごみ	燃えないごみ用の指定袋に入れる	(電池類を取り外した)小型家電製品類 金属類(指定袋に入らないものは粗大ごみ) ガラス・陶磁器類 スプレー缶・ライター・カセットボンベ その他 白熱電球・LED電球など
資源物	透明または半透明の袋に入れる	ペットボトル ガラスビン 空き缶 古紙類
有害物	透明または半透明の袋に入れる	蛍光管 乾電池 小型充電式電池

〔4〕ごみカレンダー

2023年 5月		三条1地区 嘉坪川1・2、塚野目1〜6、三貫地、柳川、柳堀、須戸				
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	●13日(土)に有害物(蛍光管・乾電池・小型充電式電池)を収集します。 ●資源物等の収集日の変更にご注意ください。(分別マークのとおりに出してください。)		

自分たちの地いきの
収集日はどうなってい
るだろう。
学びリンクで調べて
みよう。

(2) ごみを処理するしせつ

市内で集められたごみを処理するしせつは、福島新田にある清掃センターです。

このしせつでは、灰をスラグ※1として取り出して利用したり、発生した熱を利用してタービン※2で発電したりするなど、最新の設備で安全にごみの焼却処理をしています。

※1 スラグ……ごみを燃やしたあとに発生した灰を高温でとかしたもので、道路を舗装するときの原材料になる。

※2 タービン…ごみを燃やした熱で蒸気をつくり、その蒸気で羽根車を回転させて電気を起こすしくみ

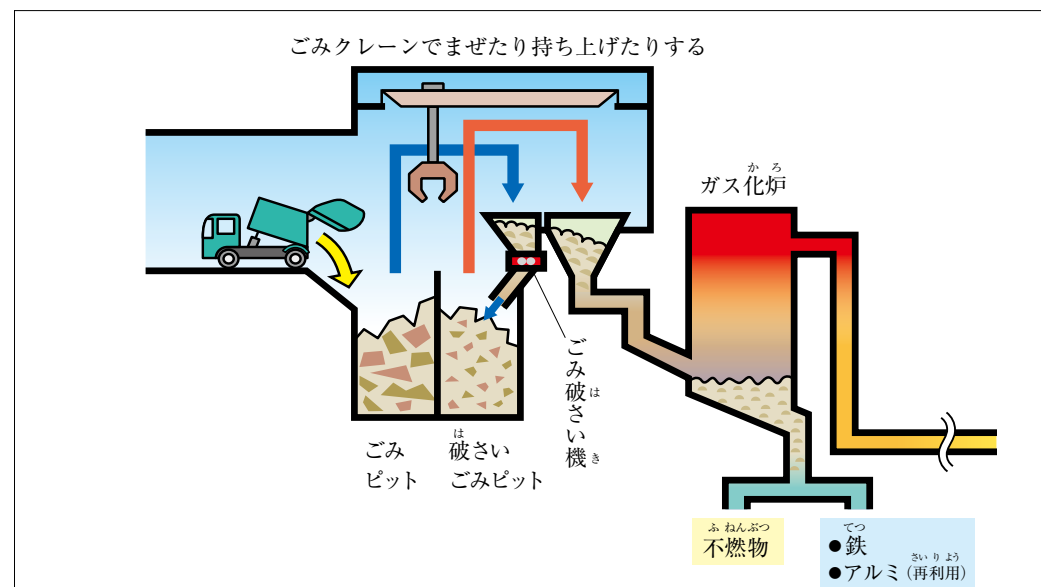
①三条市清掃センター（福島新田）



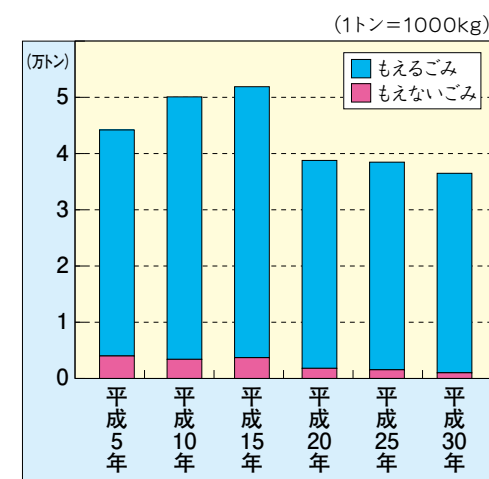
②収集車からごみを出す



⑦焼却設備



③清掃センターに集まるごみの量



(三条市清掃センター調べ)

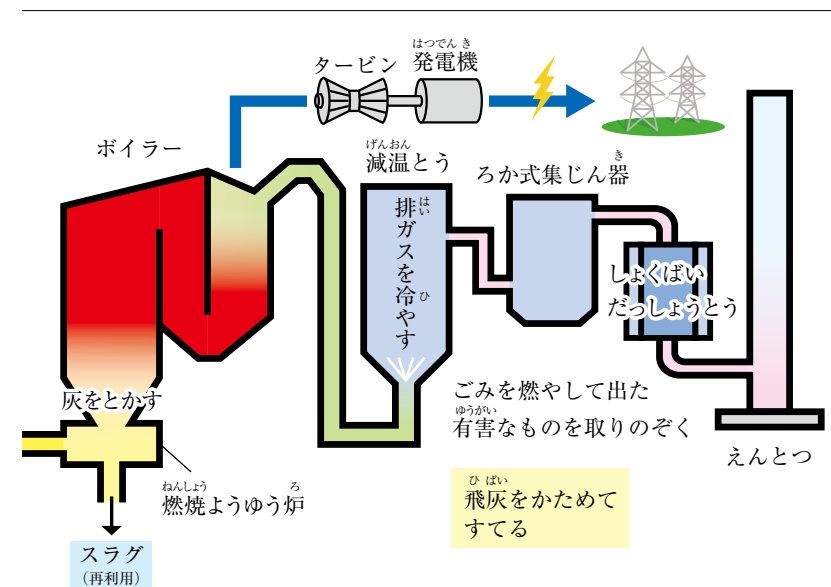
④種類別のごみの量 (R4)

ごみの種類	重さ(トン)
もえるごみ	32987
古紙るい	2058
もえないごみ	964
ガラスびん	494
ペットボトル	244
空きかん	226

⑤クレーンでごみを運ぶ



⑥中央せいぎょ室



(3) 燃えないごみや粗大ごみの処理

清掃センターには、いらなくなった自転車や家具、たたみなどの粗大ごみ、陶器やガラスなどの燃えないごみも運ばれてきます。これらのごみは清掃センターの中にあるリサイクルせつびで分別され、細かくくだかれます。取り出された鉄やアルミなどは、再利用されます。残った燃えるごみは焼却しせつで処理されます。



充電式の電池や乾電池、ガスが残っている容器などが入っていると、火災などの事故の原因になりますので、集められた燃えないごみの袋は一つ一つなかみを確認しています。

③ごみを細かくくだく破さい機



④くだいて細かくなって集められた鉄

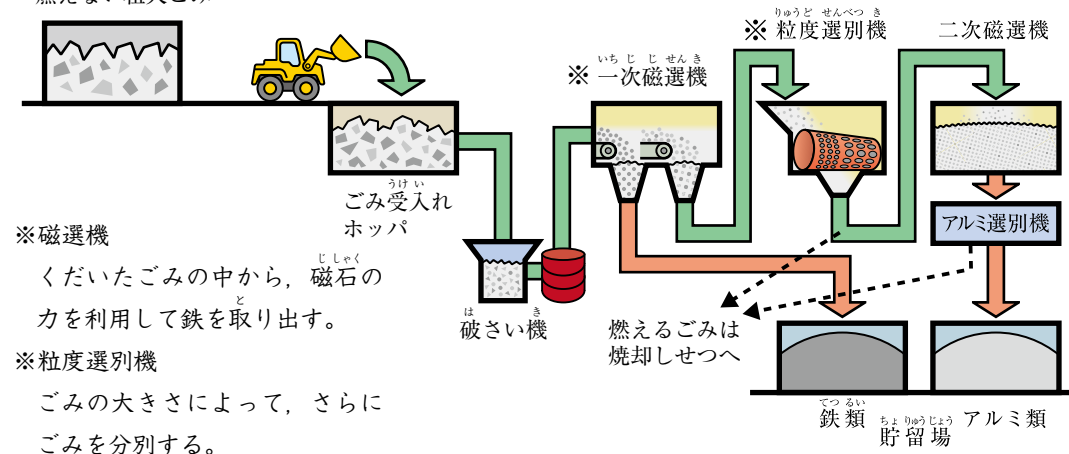


ごみの分別のしかたをしっかりとまもう。

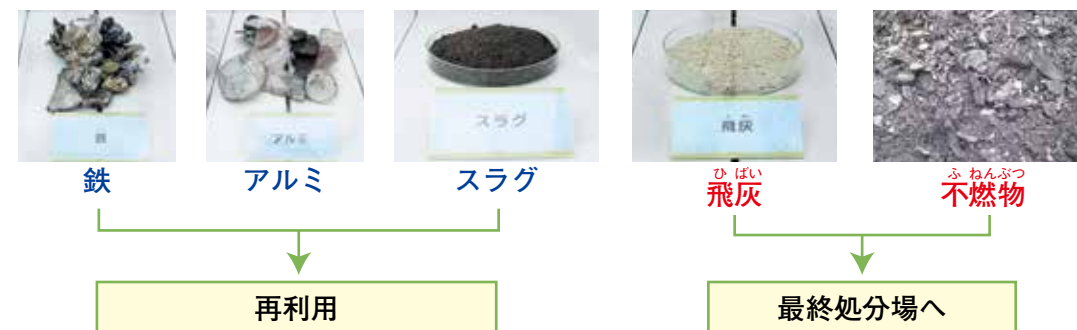


⑤リサイクル設備

燃えないごみ
燃えない粗大ごみ



⑥ごみを燃やしたあとに出るもの



ごみを燃やしたあとに出た鉄とアルミやスラグは再利用（リサイクル）され、最後に残った飛灰・不燃物は最終処分場に運ばれます。



ガラスくずや陶器

(4) 最終処分場

①以前の最終処分場（月岡）



②現在の最終処分場（桑切）



（左の建物は水をきれいにするしせつ）

最終処分場には清掃センターで出た飛灰、不燃物のほか、処理できなかったガラスくずや陶器などが運ばれて、埋め立てられます。

このしせつは、埋立地を屋根でおおっているので、風や雨などのえいきょうを受けずに埋立作業をすることができます。

また、作業で使われた処理水は河川に流さず、しせつの中で再利用しています。

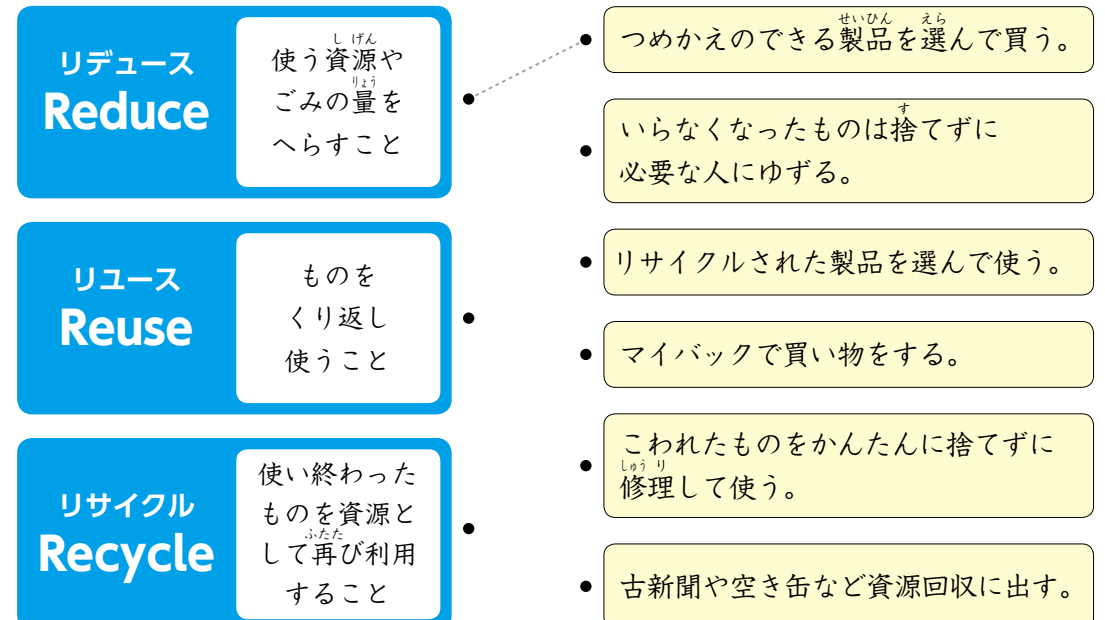
最終処分場の埋立量には限りがあります。ごみをへらすことができれば、しせつも長く使うことができますので、ふだんから分別を心がけましょう。



(5) ごみをへらす ごみを生かす



【3R (スリーアール) ってなに?】



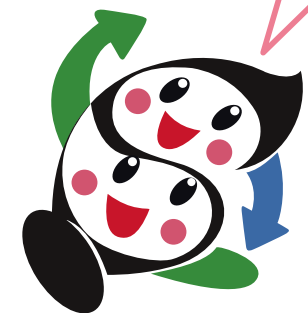
【三条市の自然や環境への取組】

かんきょう庵 (福島新田)



「かんきょう庵」は、三条市が環境にやさしく安心してらせるまちづくりを実現するために、2013 (平成 25) 年 4 月にできたしせつです。
 市民のみなさんに、環境学習やイベントに参加して、環境を大切に思う意識を上げてほしいと思います。

自分にできることはないか、みんなも考えてみよう。



平成19年度に
 いっぱん公募して、
 三条市の環境
 マスコットキャ
 ラクターに決定
 しました。



10 わたしたちのくらしと水

(1) 水道の水をつくる所

昔の人は、川の水や井戸の水を使っていました。

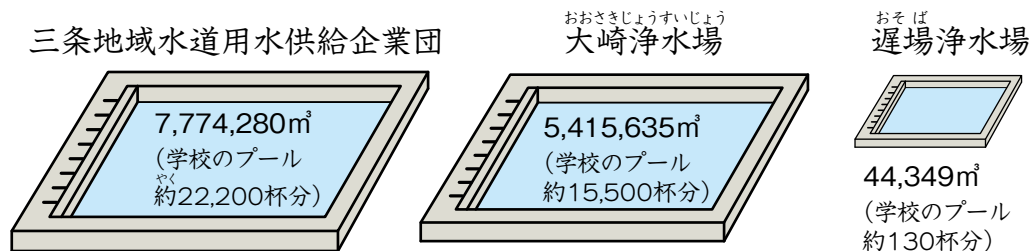
三条地区は1933（昭和8）年に上水道が完成し、しだいに町全体に給水できる地域が広がっていきました。

栄地区は、1963（昭和38）年に上水道ができました。しかし、翌年に起きた新潟地震のためにこわれてしまいました。すぐに復旧工事が始まり、1965（昭和40）年にもとどおりになりました。

山地にある下田地区は、豊かな水に恵まれていました。上水道が使われ始めたのは、1972（昭和47）年からです。

こうして広がった上水道ですが、工場がたくさんできたり、家庭で使う量が増えたりして、水が足りなくなってきました。そこで、1975（昭和50）年に三条市が加茂市などの市町村と一緒に「三条地域水道用水供給企業団」をつくり、1979（昭和54）年に工事が始まりました。この工事は、五十嵐川上流にできる大谷ダムの水をきれいにし、五つの市町村に送るようにする工事で、1996（平成8）年に完成して給水が始まりました。

三条市の水道配水量（令和4年度）



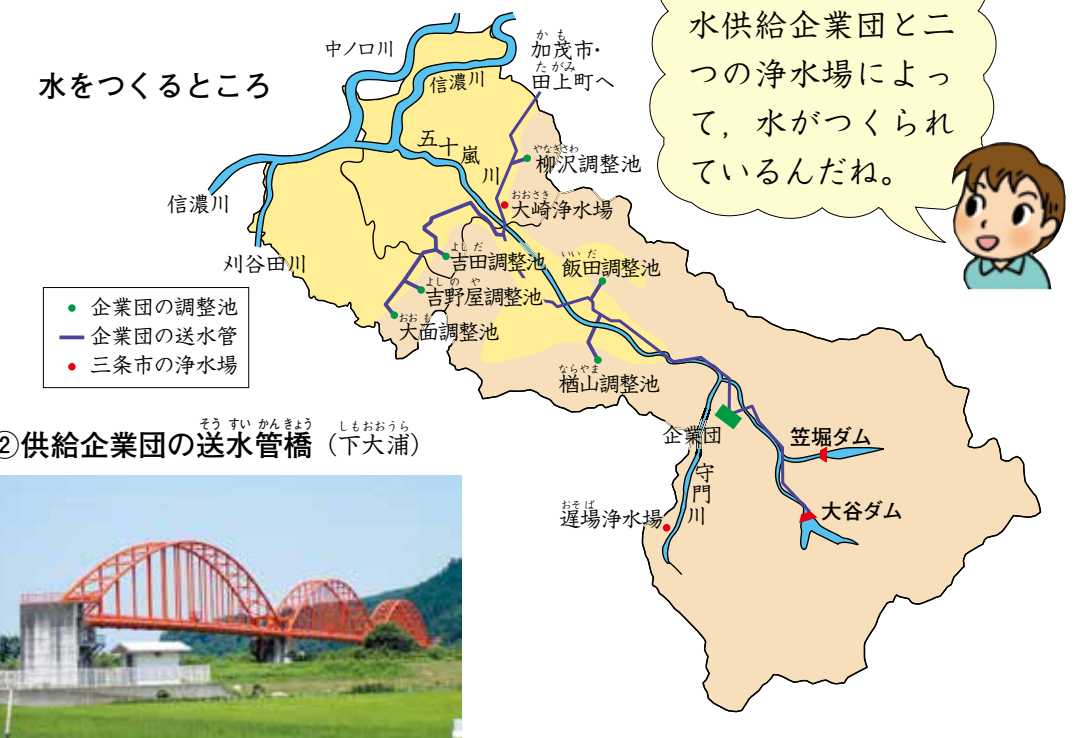
※プール1杯=350m³で計算
(三条市上下水道課調べ)

〔1〕 三条地域水道用水供給企業団

企業団は下田地区長野にあります。①三条地域水道用水供給企業団
ここでつくられたきれいな水は、三条市内の六つの調整池に送られ、そこから家庭や学校、工場などに配水されます。



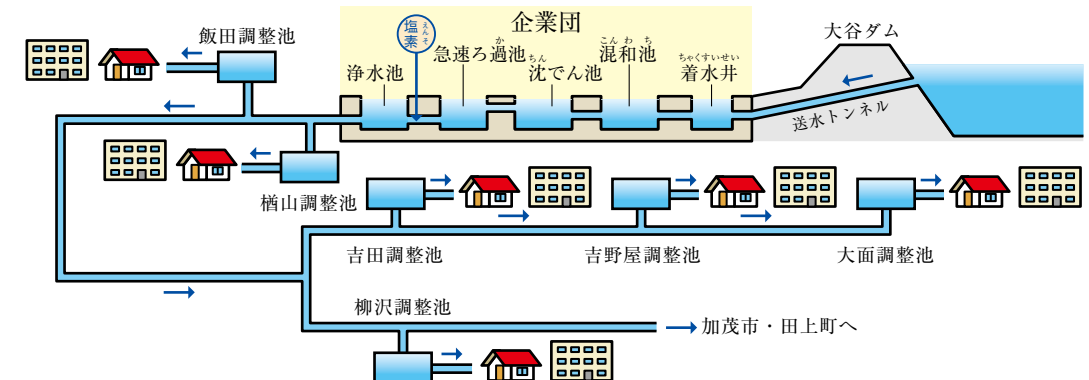
加茂市や田上町にも送られています。



② 供給企業団の送水管橋（下大浦）



水道用水供給企業団のしくみ



〔2〕三条市の浄水場

三条市には、75ページの図のように、大崎、遅場の2か所に浄水場があります。大崎浄水場にはかん速ろ過池と急速ろ過池があります。1日にできる水の量は、かん速ろ過池で約7,660 m^3 、急速ろ過池で約11,100 m^3 です。

①かん速ろ過



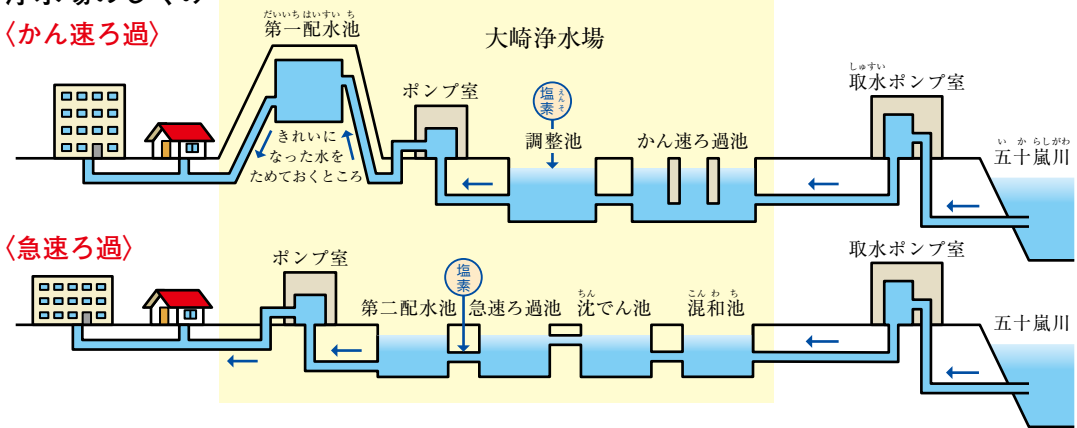
かん速ろ過池



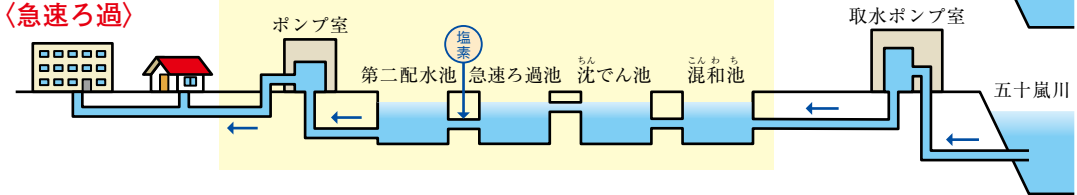
送水ポンプ室

浄水場のしくみ

〈かん速ろ過〉



〈急速ろ過〉



②急速ろ過



沈でん池



急速ろ過池

③上水道の広がり

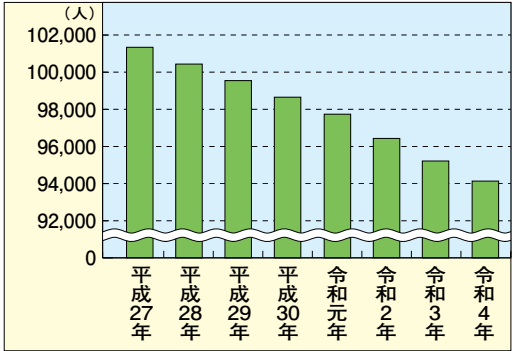
三条地区		栄地区		下田地区	
年	ことがら	年	ことがら	年	ことがら
1933(昭和8)	大崎に浄水場が完成して、三条町に上水道ができる				
1934	三条市ができる				
1954(昭和29)～	井栗・大崎地区の一部が上水道になる	1956	栄村ができる	1955	下田村ができる
1959～63	大崎・本成寺地区に※1給水が始まる	1963	尾崎浄水場が完成する。村に給水が始まる		
1964～70	しせつを広げる	1964	新潟地震で施設がすべてこわれる	1972	笠堀浄水場が完成して、一部で給水が始まる
1970～71	箆場に新しく※2取水口をつくる	1965	地震復旧工事が終わる	1973	外谷地区まで給水が広がる
1974(昭和49)	箆場の取水しせつを改良する				
1975	三条市、加茂市、田上町、栄村、下田村で三条地域水道用水供給企業団がつくられる				
1989(平成元)	大島地区が上水道になる	1983	栄町となる	1977	遅場浄水場が完成して、給水が始まる
1993	大谷ダムが完成する				
1996	三条地域水道用水供給企業団からの給水が始まる				
2005	三条市、栄町、下田村が合併して新しい三条市になる				

※1 給水……水道が使えるようになること。

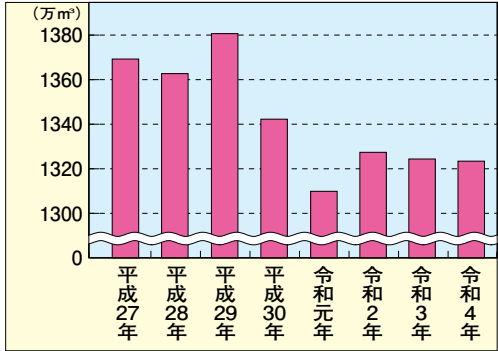
※2 取水口……川などから水を採集する場所のこと。

④使用する水の量のうつり変わり

〈三条市の人口のうつり変わり〉

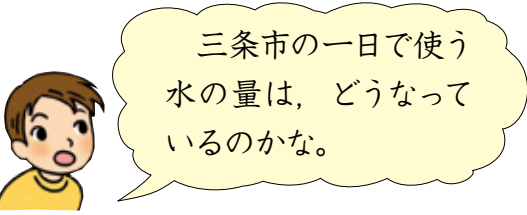


〈三条市一年で使用する水の量〉



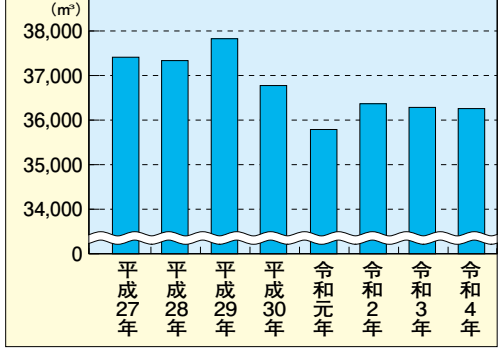
⑤三条市の一日で使用する水の量のうつり変わり

※年間使用量を年間日数で割った値です。
(三条市上下水道課調べ)



三条市の一日で使う水の量は、どうなっているのかな。

〈三条市の一日で使用する水の量〉



(2) よごれた水しよりを処理する所

わたしたちが、毎日の生活や工場などで使ったあとのよごれた水は、
どうなるのでしょうか。

昔は家庭や工場で使った水を、そのまま川に流していました。しかし、よごれた水をそのまま流すと川や海もよごれ、人々のくらしに悪いえいきょうがあります。そこで、三条市では、よごれた水をきれいにする下水道と処理しせつをつくりました。

下水道には、次のような役割があります。

- 雨水が低い所にたまらないようにし、災害からくらしを守る。
- よごれた水をためずに、すばやく流すことで、衛生的な生活を送ることができる。
- 川や海の水をよごさず、魚や生き物がすむ自然環境を守る。

よごれた水を、魚がすすめるくらいのきれいな水にもどすためには、
たくさんの水が必要ひつようです。

よごれた水をきれいにするために必要な水の量りよう

みそ汁1杯 (200mL)		ふろおけ 4.7杯分
米のとぎ汁 (2L)		ふろおけ 4杯分
使った 天ぷら油 (500mL)		ふろおけ 320杯分
牛乳1杯 (200mL)		ふろおけ 10杯分

ふろおけ1杯分の
水の量

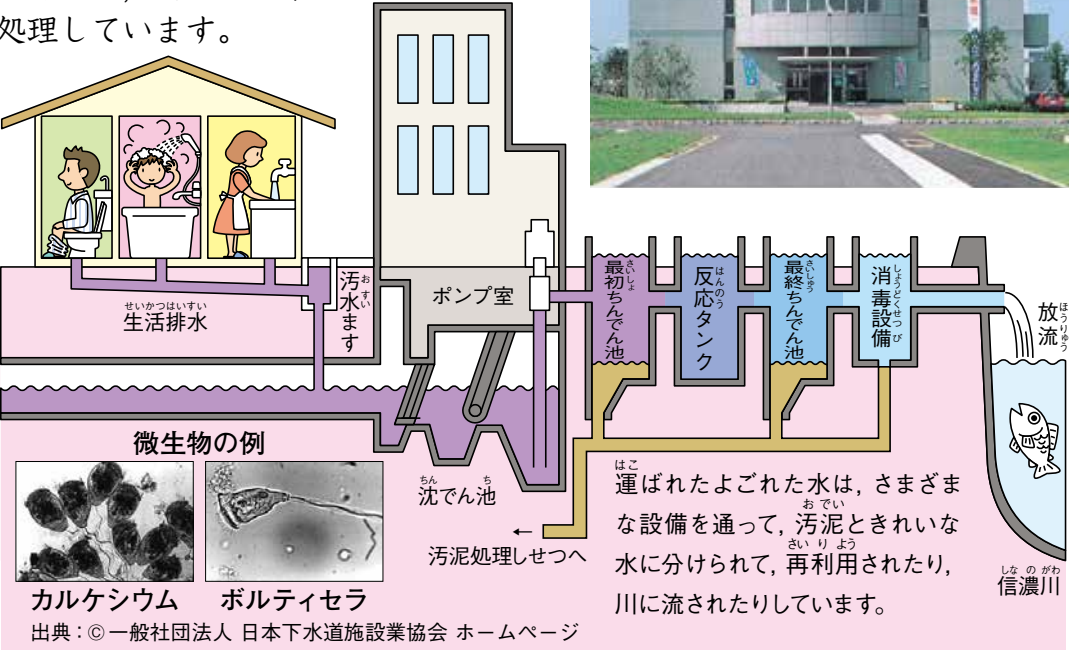
 =300L

水は、限りのある資源なんだね。



(3) 三条市下水処理センターのしくみ

下水処理センターでは、次のようなくみで、よごれた水を処理しています。



①三条市下水処理センター（塚野目）



②よごれた水がきれいになるひみつ

集められたよごれた水に、微生物のまじったどろを加えて、空気をふきこむと、微生物が活発に動き始め、よごれを食べてくれます。そして、微生物はかたまりになって水の底にしずみ、上に残ったきれいな水だけをとりまします。

きれいになった水の中にも、大腸菌などの細菌がふくまれています。この水を消毒してから川に流します。また、下水の通っていない地区では、自宅の浄化槽できれいに流しています。

③沈でん池



④処理センターの人の話

下水道ができると、家や工場などから流される水によって川がよごされることがなくなります。みなさんが、せいけつで安全なくらしができるように、これからもがんばります。



11 自然災害にそなえるまちづくり

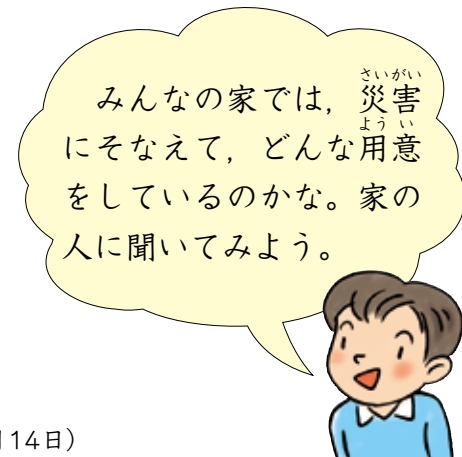
(1) 三条市の近年の水害

①平成16年7月新潟・福島豪雨（7・13水害）

2004（平成16）年7月12日から13日にかけて、三条地域で非常に
はげしい雨がふりました。そのため、五十嵐川左岸の堤防がこわれ、
なくなった人9人、住宅の被害7,000棟以上、被害総額約290億円と
いう大水害が起こりました。



上空から見た五十嵐川と浸水した市街地（7月14日）



みんなの家では、災害
にそなえて、どんな用意
をしているのかな。家の
人に聞いてみよう。



自衛隊のボートに救出された人
（7月13日深夜・西四日町三丁目）



水害後の大量のごみ（四日町）

②平成23年7月新潟・福島豪雨（7・29水害）

2011（平成23）年7月26日から30日にかけて、新潟県と福島県で
集中的にはげしい雨がふりました。新潟県では、五十嵐川など信濃川
の六つの支流で堤防がこわれました。三条市では下田地区などで土砂
くずれが起き、田畑が浸水したり、家がこわれたりしました。そのほ
かの地区でも住宅地などに被害がありました。

(2) 現在の防災対策

7・13水害の後、三条市では災害に強いまちづくりをめざして、水
害や地震の対応マニュアルやハザードマップ（災害のはんいを予測し
た地図）などを作りました。また、五十嵐川の川はばを広げる工事や遊
水地・調整池をつくる工事、防災行政無線の整備を進めてきました。



大雨がふったときは、雨量、川の水位、ダムの様
子によって、市の職員を急いで集め、災害警戒本部
や支部などをつくり、避難所を開設することになっ
ています。

三条市豪雨災害対応
ガイドブック・
ハザードマップなど

市内180か所に防災行政無線の屋外スピーカーを
つけ、個別受信機400台を自治会長や民生委員など
に配って、災害のときに避難情報を流すようにしました。また、三条
市メール配信サービスでも、災害避難情報入手できるようになりま
した。

さらに「自分たちの地域は自分たちで守る」という気持ちで、とな
り近所の人たちと助け合って防災活動を行う自主防災組織をつくるこ
とも進めています。

三条市では、毎年、防災訓練を行い、さらに安全にらせるよう
に、これらの対策について見直しをしています。

2014（平成26）年には、上須頃に三条市水防学習館が建設され、市
民のほか、各小・中・義務教育学校でも防災の学習に活用されています。



三条市水防学習館（上須頃）



防災訓練の様子

※90、91ページも見てみよう。

12 地域の発展につくした人々

(1) 教育につくした人

もろはしてつじ
諸橋轍次

諸橋轍次博士は、1883（明治16）年6月4日、庭月村（今の三条市庭月）に生まれました。轍次のお父さんは諸橋安平（やすへい）といって、漢学（中国の学問）の先生でした。轍次は、小学校を出た後、奥畑米峰（おくはたべいほう）という先生に3年間漢学を学びました。新潟



で師範学校（先生になるための学校）に入り、さらに東京に出て、学校で漢学の勉強（べんきょう）をしました。学校を卒業（そつぎょう）してからも、群馬県や東京の師範学校の先生になって研究（けんきゅう）を続け、1929（昭和4）年に文学博士になりました。

1927（昭和2）年のことです。大修館書店（たいしゅうかんしょうてん）という出版社から「大漢和辞典（だいこんわじてん）」をつくることをたのまれました。博士はあまりに大変（たいへん）な仕事になるので、どうしようかと考えましたが、お弟子（でし）さんなどから協力（きょうりょく）してもらうことにして、引き受けました。「大漢和辞典」の第1巻（だい かん）が出たのは、太平洋戦争（たいへいようせんそう）中の1943（昭和18）年のことです。しかし、



①博士の生家（庭月）

1945（昭和20）年に東京大空襲（だいこうくう）があり、爆弾（ばくだん）が印刷工場（いんさつ）に落ちて、印刷するばかりになっていた印刷の版（はん）が全部（ぜんぶ）だめになってしまいました。けれども、博士は大勢（おおぜい）の人たちの協力（きょうりょく）やはげましの声（こゑ）にささえられて、引き受けてから

30年あまりかかって、1960（昭和35）年に完成（かんせい）させました。できあがった「大漢和辞典」は全部（ぜんぶ）で13冊（さつ）で、合わせて1万5000ページにもなります。



②記念館にある「大漢和辞典」

文学博士として長い間漢学の研究（けんきゅう）を続けました。大学で漢学の先生をしていましたが、上皇陛下（じょうこうへいか）に特別（とくべつ）に学問（がくもん）を教えたこともあります。天皇陛下（てんのう）の名前（なま）「徳仁（なるひと）」も博士がつけました。

博士は東京に住んでいましたが、ふるさとの下田（す）が大好きで、8月のお盆（ぼん）にはお墓参（はかまい）りに帰りました。そして、山（や）や田（で）の広がる景色（けしき）をながめ、ふるさとの人々と楽しく話を交（か）わしていました。「ふるさとの夢（ゆめ）しか見（み）ない」というほど、ふるさとの下田（あ）いを愛（あい）していました。

博士は1962（昭和37）年に下田村（めいよそんみん）の名誉（めいよ）村民（しんみん）になりました。

その後、博士は1964（昭和39）年に大学などの仕事（しごと）をやめました。翌年（よくねん）に学問（がくもん）につくした人（ひと）にあたえられる文化勲章（ぶんかくんしょう）を受けました。博士がなくなったのは1982（昭和57）年12月8日、99歳のときでした。1992（平成4）年に、博士の功績（こうせき）を広く伝えるため、「漢学の里（かんのく さと）」諸橋轍次記念館（もろはしてつじ かいんくわん）が博士の生まれた家（か）の近く（ちかく）に建（た）てられました。記念館（かいんくわん）では、博士が子ども（こども）のころ（ころ）のこ（こ）ことや、美しい書（うつく）など（など）を見（み）ることができ（でき）ま



③「漢学の里」諸橋轍次記念館

す。博士の生まれた家（か）も、文化財（ぶんかざい）として保（たも）つて保存（ほぞん）されています。

博士が残（のこ）した「大漢和辞典」は、これからもずっと、多く（おほく）の人（ひと）々の学問（がくもん）のささえにな（な）っていくこと（こと）で（で）しょう。

(2) 治水につくした人々

〔1〕大水と三条

①ふだんの五十嵐川（一新橋付近）



②今も残る水倉（西中）



信濃川と五十嵐川，刈谷田川が流れる三条市は，昔から水害の多いところでした。いつもは，これらの川は，飲み水やいねを育てるために使われ，人々の生活にとって，大変役立っています。ところが，ひとたび大雨がふると，家や田畑をおし流し，たくさんの人の命をうばうことさえありました。

たとえば，五十嵐川の1872（明治5）年の大水では，四日町，新保，島田などが大きな被害を受け，1897（明治30）年の大水では，三竹の堤防がやぶれ，裏館と荒町をのぞく五十嵐川の北側の地域は，どろの海になったと言われています。

また，信濃川と五十嵐川，刈谷田川に囲まれた地域では，土地が低いために，ひとたび大水になると，貝喰川や大面川など小さな川の排水がうまくいかず，なかなか水が引きませんでした。

人々は，水倉をつくり，大水の時には，そこに避難するなど，いろいろ工夫していましたが，それでも，大水になるたびに，苦しい生活をしなければなりませんでした。

③大水で堤防がやぶれた所（三条地区）

1868（明治元）年以降



④大水で水害にあった所（栄地区）

1868（明治元）年以降



三条の昔の大水の様子について，お年寄りに聞いたり，石碑や水倉などを見つかりして，調べてみよう。



(2) 明治時代の堤防づくり

江戸時代、役所のあった今の本町などが水害を受けないように、四日町、新保など五十嵐川の南側は、堤防をつくることが許されませんでした。しかし、1875（明治8）年、ようやく堤防をつくってもよいという県の許しが出ました。

松尾与十郎のはたらき

水害に苦しむ人々を何とか救おうとした松尾与十郎は、五十嵐川左岸（南側）の堤防をつくることを県に願い出ましたが、なかなか許しが出ませんでした。しかし、1875（明治8）年に楠本正隆県令（今の県知事）が五十嵐川の様子を見に来て、堤防をつくってもよいという許しが出ました。



与十郎は地域の人たちと相談し、みんなでお金を出し合い堤防をつくることにして、工事に2年あまりをかけ、1877（明治10）年10月に完成しました。6000メートルもあるこの堤防ができてから、四日町や周辺の村々などが水害にあうことは、ずっと少なくなりました。さらに与十郎は、道路をつくるなど、地域のくらしをよくすることに力を注ぎ、自分の財産もほとんど使い果たしました。1886（明治19）年、ときどきはらんする田川に排水路をつくることを言い残し、55歳でなくなりました。諏訪の水害復興記念公園にある堤防完成記念碑には、与十郎をたたえた楠本県令の文がほってあります。

①五十嵐川左岸堤防（諏訪新田）



②銅像と堤防の完成記念碑（7.13水害復興記念公園）



③松尾与十郎の仕事（7.13水害復興記念公園にある案内板から）



④トンネルから出る田川の水（月岡）



⑤1881（明治14）年にできた道路（南四日町）



〔3〕明治時代の排水路づくり“直江排水路”



直江排水路と国道8号

福島新田から信濃川、刈谷田川のあたりまでの一帯はもともと低い土地で、雨がふると水びたしになり、米の収穫ができなくなることがありました。これを直すための排水路の工事が昔から続けられてきました。現在の直江町近辺を通る排水路は、まっすぐなことから「直江排水路」と名づけられ、この地域も直江町と呼ばれるようになりました。

福島新田から信濃川、刈谷田川のあたりまでの一帯はもともと低い土地で、雨がふると水びたしになり、米の収穫ができなくなることがありました。これを直すための排水路の工事が昔から続けられてきました。現在の直江町近辺を通る排水路は、まっすぐなことから「直江排水路」と名づけられ、この地域も直江町と呼ばれるようになりました。

田中廬のはたらき

田中廬は、1845年（江戸時代）に、今の福島新田に生まれ、名主として村のためにたくさんの仕事をしてきました。

廬が地域のためにつくした大きな仕事は二つあります。

一つ目は、直江排水路です。廬は、金子新田の外山静一郎と協力して直江排水路の工事を始め、1887（明治20）年に完成させました。また、1898（明治31）年には、多くの人と協力して刈谷田川の大改修工事を完成させました。

二つ目は、教育の仕事につくしたことです。はじめは自分の家の一部を校舎にしました。しかし生徒が多くなってきて、学校を建てることになりましたが、様々な意見があって建てる場所がなかなか決まりません。廬は人々の意見をよく聞き、学校の場所を決めました。

廬は地域の人々から尊敬され、1910（明治43）年に65歳で亡くなりました。



〔4〕排水工事

1922（大正11）年に大河津分水路ができました。これによって、信濃川の大水による被害は大きくへりました。

しかし、栄地区や本成寺地区では、土地の低い所が多いために、信濃川へ排水する貝喰川などの水はけが悪く、逆流したり、水がたまったりしていました。そこで、貝喰川や直江の水を機械の力で排水できるようにするために工事を始め、1952（昭和27）年に排水機場や排水路が整いました。

1961（昭和36）年の大水の後、機械の力で排水できる地域をさらに広げるために、それまでの排水機場にかえて、今井にもっと大きな排水機場をつくることになりました。刈谷田川右岸排水機場です。1976（昭和51）年に完成し、運転が始まりました。

また、刈谷田川では、1965（昭和40）年から、曲がりくねった川をまっすぐに直したり、川はばを広げたり、堤防を強くしたりする改修工事が進められました。1980（昭和55）年には、上流の栃尾市（現在の長岡市栃尾地区）に刈谷田川ダムができました。2004（平成16）年の7・13水害の後、刈谷田川では、さらに改修工事が進められています。

こうして、大水から地域を守る取組が続けられています。

①刈谷田川右岸排水機場（今井）



②刈谷田川ダム（長岡市栃尾）



〔5〕 ^{かさぼり}笠堀ダムと ^{おおたに}大谷ダム

①笠堀ダム



②大谷ダム



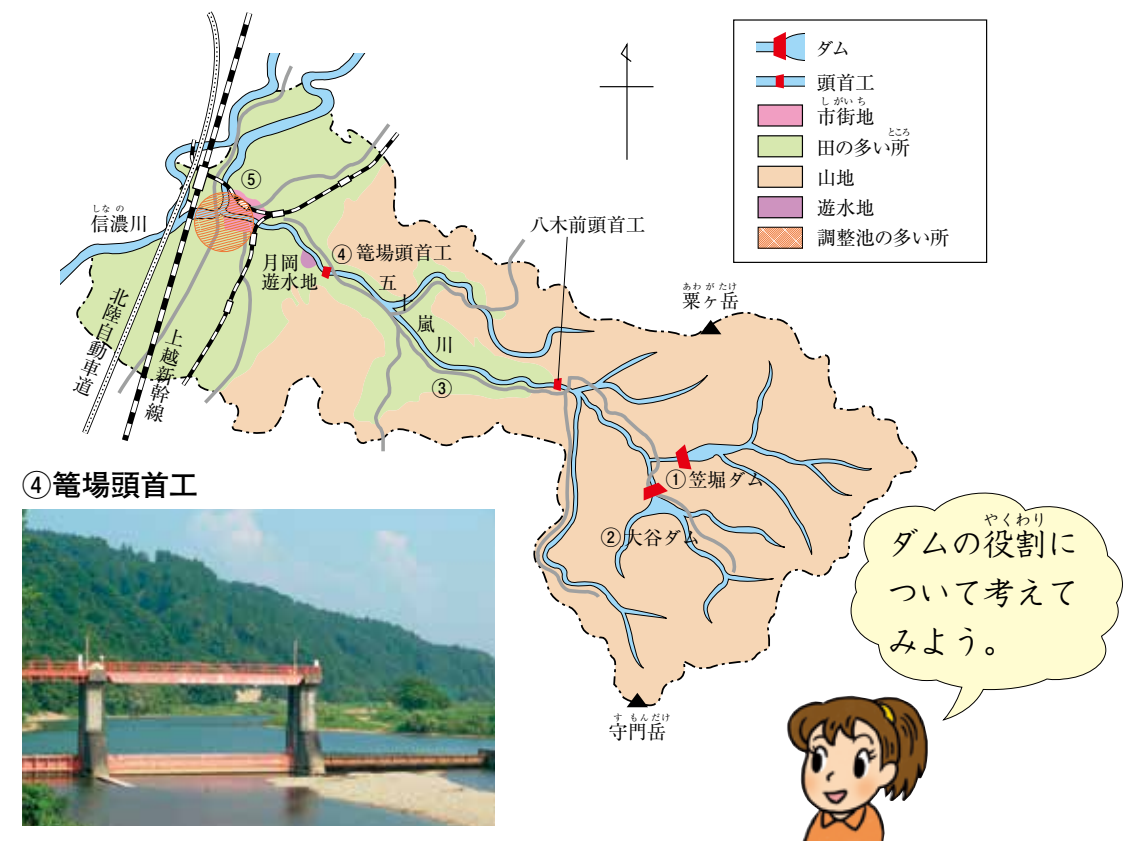
五十嵐川は、これまで、たびたび大水となって、人々を苦しめてきました。とくに、1944（昭和19）年の大水は、大きな被害を出しました。そこで、この時から、上流の笠堀にダムをつくって水を貯め、一度にたくさんの水が流れ出ないようにしようとする計画が立てられました。笠堀ダムは、1964（昭和39）年にできました。このダムは、五十嵐川の水を計画的に調節して、農業用水、発電、水道などのために使って、役に立っています。

また、八木前^{やぎまえ}や籠場^{かごば}にりっぱな頭首工^{とうしゅこう}（川の水を田の用水路に引き入れるためのしせつ）がつくられ、田にほどよく水をやることができるようになりました。

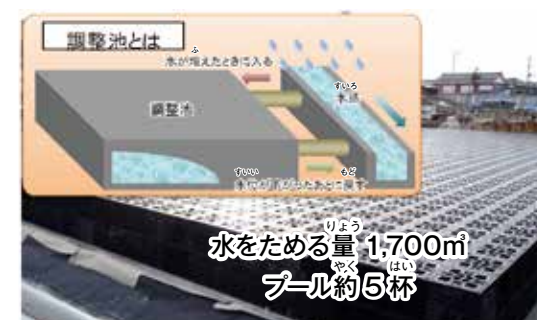
さらに1993（平成^{へいせい}5）年には、大谷ダムができました。しかし、2004（平成16）年に再び^{ふた}大きな^{すいかい}水害が起きたため、2019（令和元）年には、笠掘ダムのかさあげ^{こうじ}工事をして、より多くの水を貯められるようにしました。

また、五十嵐川下流には遊水地や調整池を整備し、大水から地域を守る取組を続けています。

③五十嵐川（江口付近）大雨の時と河川改修工事後



⑤調整池





三条市のイラストマップ



三条市のうつり変わり

※太字は国・県と三条市全体のできごと

時代	いつ	（西暦）	三条地区のおもなできごと
	旧石器時代		つきおか 月岡に人が住みつく。
	縄文時代		月岡に人が住む。
			うまのほら 上野原に人が住む。
	弥生時代		じよほうじ 如法寺で鉄斧など鉄の道具が使われ始める。
		300	このころ、上保内に古墳がつくられる。（保内三王山古墳群）
			この地が大槻の荘と呼ばれていた記録がある。
		1297	にちいん 日印上人が青蓮華寺を建てる。（のちの本成寺）
		1350ころ	
		1355	三条の地名があらわれる。（神奈川県のお寺の文書に書かれている）
		1616	じょうかみすこう 三条城が上須頃から今の元町一帯にうつる。
		1631	三条城が廃城となる。
		1644	
		1690	ほんがんじ 東本願寺三条別院がおかれる。
		1828	三条大地震。三条から長岡にかけて、家がつぶれたり、火事になったりして1,559人が死ぬなど、
明治	1	1868	ぼしんせんそう 戊辰戦争で、五十嵐川をはさんで戦われる。
	5	1872	五十嵐川の大洪水で、嵐南地区に大きな被害が出る。
	〃	〃	一ノ町（本町三）に三条郵便局ができる。
	〃	〃	三条校（旧三条小学校）ができる。
	6	1873	五十嵐川に三条橋（今の嵐川橋）ができる。
	7	1874	まちにガス灯がはじめてつく。
	〃	〃	しなの 信濃川に川じょう気船が通うようになる。（新潟～長岡）
	9	1876	
	10	1877	まつお 松尾与十郎が五十嵐川左岸の堤防をつくる。
	11	1878	
	13	1880	いとやまんべい 糸屋万平大火。上町（本町一）から出火して、2,743戸が燃え、34人が死ぬ。
	19	1886	三条が町になる。
	20	1887	かんぞく 日本ではじめての日食観測が永明寺山（大崎山）で行われる。
	23	1890	
	30	1897	ほくえつてつどう 北越鉄道（今のJR信越本線、 しんまつ 新潟の沼垂～一ノ木戸（東三条）が開通する。
	31	1898	北越鉄道、一ノ木戸～長岡が開通する。三条駅ができる。
大正	34	1901	
	35	1902	
	41	1908	
	42	1909	
	44	1911	はじめて電灯がつく。
	1	1912	
	2	1913	三条～弥彦を乗合自動車を通る。
	4	1915	
	5	1916	
	6	1917	
正	9	1920	第一回国勢調査。人口20,424人、戸数3,973戸。
	10	1921	

栄地区のおもなできごと	下田地区のおもなできごと	およそ年前
	たなひれ 棚鱗などに人が住みつく。	3万～1万
よし 吉野屋などに人が住みつく。	ながの 長野などに人が住む。	5000
ふくじま 福島新田に人が住む。	おおのち 大谷地や荻堀などに人が住みつく。	2300
		2000
		1700
この地を大面の荘と呼ぶようになる。	このころ、五十嵐小文治がかつやくしたといわれる。	800
とうさんじ 東山寺が建てられる。		
こたき 小滝の山に大面城がさずかれる。	たかじょう 高城やながさわ 長沢の城山に城がさずかれる。	600～500
		400
	こう 下田郷が村松藩の領地になる。	
大きな被害が出る。		200
戊辰戦争で、大面・小滝ふきんが戦場になる。	戊辰戦争で、あかさかうげ 赤坂峠が戦場になる。	
	長沢、中浦、大浦、鹿峠に小学校ができる。	
ふくじま 福島小学校と分校の帯織校・大面校ができる。	ながの 長野校（明治14年廃校）、長沢校付属笹岡校ができる。	
おびおり 帯織郵便局ができる。	なかうら 鹿峠郵便局・荒沢郵便局ができる。	150
	長野校付属荒沢校ができる。	
	かこば 亀場と高岡をつなぐ高岡大橋ができる。	
	高岡の西潟為蔵が国会議員になる。	
帯織駅ができる。	下田校（今の森町小学校）ができる。	
大面村、福島村ができる。	長沢村、森町村、鹿峠村ができる。	
	人力車がはじめて下田に入る。	
	ちうげ 名下、笠堀、早水に下田小学校分教場ができる。	
大面小学校ができる。		
	鹿峠と荻堀をつなぐ五十嵐橋ができる。	
洪水をふせぐため、貝喰川の形をなおし、耕地整理をする。		
	とやちく 棚鱗に県立種畜場ができる。（今の畜産研究センター）	
おおも 大面油田からたくさんの石油が出る。		
はじめて電灯がつく。		
	やぎまき 三条町～八木前を乗合自動車を通る。（1日4往復）	

時代	いつ	(西暦)	三条地区のおもなできごと
大正	12	1923	関東大震災が起きる。このころから三条の大工道具、金物が全国に知られるようになる。
	14	1925	弥彦線、燕～東三条が開通し、北三条駅ができる。
	15	1926	集中豪雨による大洪水で五十嵐川の堤防がこわれ、嵐南地区に大きな被害が出る。
昭和	2	1927	弥彦線、東三条～越後長沢が開通し、越後大崎駅ができる。
	㍻	㍻	三条町～見附町を乗合自動車を通る。
	6	1931	常盤橋が永久橋になる。
	8	1933	上水道が利用されるようになる。
	9	1934	三条が市になる。人口32,897人、戸数5,980
	16	1941	太平洋戦争が始まり、生活にえいきょうが出てくる。小学校が国民学校になる。
	19	1944	鉄が不足したため、弥彦線、東三条～越後長沢のレールがはずされる。
	20	1945	太平洋戦争が終わる。
	21	1946	東三条～越後長沢のレールがしかれ、ふたたび汽車が通る。
	22	1947	学校の制度が変わり、義務教育の中学校ができる。三条市や近くの村に新しい中学校ができる。
	23	1948	今までの中学校が高等学校になる。農業協同組合ができる。
	30	1955	
	31	1956	
	33	1958	三条小学校と井栗小学校にプールができる。
	35	1960	
	36	1961	8・5集中豪雨。御蔵橋、新大橋、渡瀬橋が流れる。
	㍻	㍻	第二室戸台風。1,620軒の家がこわれる。
	37	1962	
	38	1963	1月、三八豪雪。大雪のため交通が止まり、大きな被害が出る。学校はりんじ休校となる。（三条
	㍻	㍻	インターハイが三条で開かれ、三条高校バスケットボール部が優勝する。
	39	1964	新潟国体で、三条市がバドミントン、弓道の会場になる。
	㍻	㍻	新潟地震が起きる。農業用しせつに大きな被害が出る。
	㍻	㍻	厚生福祉会館が旭町にできる。
	40	1965	条南小学校ができる。
	41	1966	
	43	1968	国道8号が開通する。
	㍻	㍻	三条・燕総合グラウンドができる。
	45	1970	新しい市役所が旭町にできる。
	㍻	㍻	
	47	1972	消防署が西裏館に移転。
	50	1975	南小学校ができる。
	52	1977	石上大橋ができる。
	53	1978	北陸自動車道、新潟～長岡が開通し、三条燕インターチェンジが設置される。
	54	1979	体育文化センター、総合体育館ができる。
	55	1980	スポーツ都市宣言をする。グリーンスポーツセンターができる。
	56	1981	中央公民館が新しくなる。
	57	1982	上越新幹線が開業する。(新潟～大宮)
	58	1983	市立図書館が新しくなる。
	㍻	㍻	「三条市史」10巻が完成する。
	59	1984	市制50周年記念式典が行われる。
	60	1985	関越自動車道全線開通。(長岡～練馬)
	61	1986	

栄地区のおもなできごと	下田地区のおもなできごと	およそ年前
		100
	八十里越の道路が集中豪雨でこわれ、廃道になる。	
	弥彦線、東三条～越後長沢が開通し、大浦駅、越後長沢駅ができる。	
	下田小学校が森町国民学校になる。	90
	東三条～越後長沢の鉄道のレールがはずされる。	80
	東三条～越後長沢のレールがしかれる。	
大面村と福島村に中学校ができる。	長沢中学校、森町中学校、鹿峠中学校ができる。	
大面村と福島村に農業協同組合ができる。	長沢村、森町村、鹿峠村に農業協同組合ができる。	
	長沢村、森町村、鹿峠村が合併して下田村になる。	70
大面村と福島村が合併して栄村になる。 北小学校（今の栄北小学校）ができる。		
	高岡大橋が永久橋になる。荒沢小学校が独立校になる。	
刈谷田川や大面川の堤防がこわれ、被害が出る。		
第二室戸台風で、101軒の家がこわれる。	第二室戸台風で、大きな被害が出る。	
上水道が使用され始める。		
の積雪4.25m、下田の積雪、平地で5.20m)		
中央小学校（今の栄中央小学校）ができる。		
	笠堀ダムができる。	60
新潟地震のため、水道のしせつが全部こわれる。	新潟地震が起きたが、少ない被害ですむ。	
大雨で刈谷田川の堤防が切れ、大きな被害が出る。		
	諸橋徹次博士が文化勲章を受ける。	
はじめて消防自動車がそなえられる。	早水小学校ができる。	
公民館ができる。		
	吉ヶ平の集落が集団で移転する。	
	共同の清掃工場でごみ集めが始まる。	
	上水道が使用され始める。	
老人いこいの家「しらさぎ荘」ができる。		50
大面中学校・福島中学校が閉校となる。		
二つの中学校をあわせて栄中学校ができる。	渡し舟が姿を消す。	
村民グラウンドと野球場ができる。	下田大橋ができる。大江、大谷の集落が閉村する。 総合体育館ができる。	
栄村が栄町になる。		
「栄村誌」3巻が完成する。	曲谷に、下田野球場ができる。	
農村環境改善センターができる。	給食センターで給食をつくるようになる。	
大面小学校の新校舎ができる。		
三条地域消防署栄分署庁舎ができる。	藤平工業団地ができる。	40
学校給食センターができる。	弥彦線、東三条～越後長沢が廃止される。	
	長沢、森町、鹿峠の三つの中学校をあわせて下田中学校になる。	

三条市の文化財

(1) 文化財のある所

三条市にはたくさんの文化財があります。どこに、どんな文化財があるでしょう。地図についている番号で調べてみましょう。
102ページから、くわしい一覧表や写真があります。



文化財ってなんだろう。
きっと、大切なものなん
だね。どんなものがある
のかな。



指定文化財

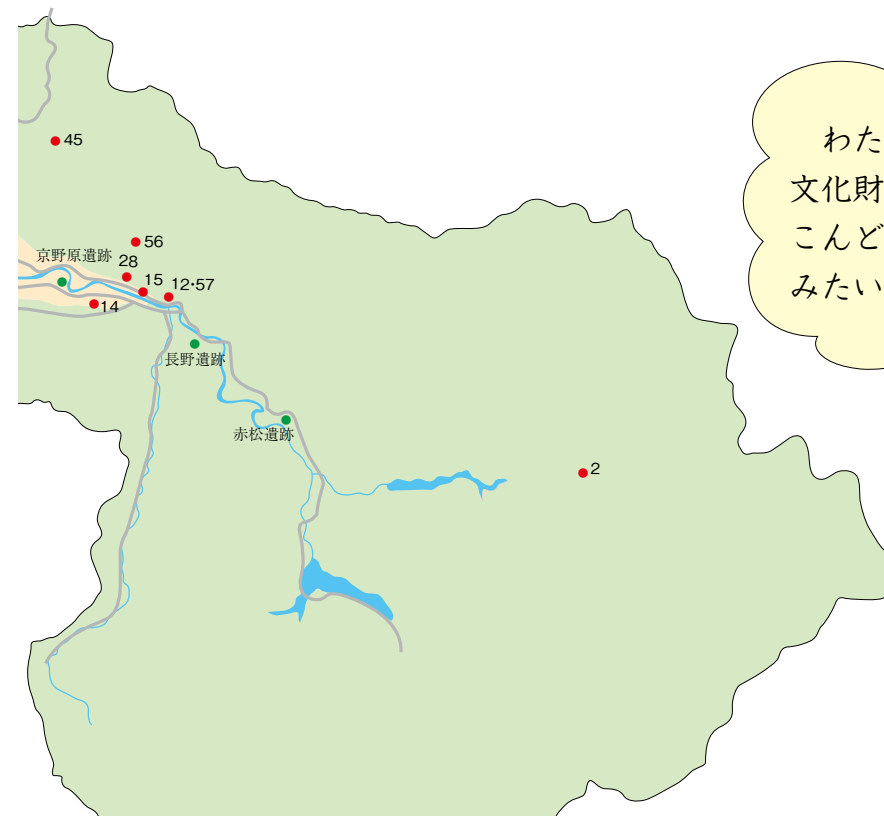
文化財は有形文化財、無形文化財と自然文化財があります。

有形文化財は、建造物・絵画・彫刻・工芸品などがあります。

無形文化財は芸能・工芸技術のほか、民俗芸能・風俗慣習があります。自然文化財は、名勝・天然記念物などです。

登録有形文化財

町や村が近代化のため、指定文化財以外でも価値のある古い建造物などがとりこわされることが多くなりました。これらの建造物を保護するために、1996（平成8）年に、登録有形文化財の制度がもうけられました。



わたしの家の近くにも
文化財があるのかしら。
こんどさがしに行っ
てみたいな。



(2) 三条市の文化財一覧表

国指定文化財

番号	種 別	名 称	指定年月日	所在地（所有者等）
1	彫 刻	木造阿弥陀如来立像	1950年(昭和25.8.29)	東裏館一丁目（乗蓮寺）
2	天然記念物	笠堀カモシカ生息地	1971年(昭和46.5.13)	笠堀（三条市ほか）

県指定文化財

3	建造物	本成寺三門（山門）	1992年(平成4.3.27)	西本成寺一丁目（本成寺）
4	絵 画	絹本着色日現像・絹本着色絵曼荼羅・絹本着色小絵曼荼羅	2021年（令和3.3.26）	西本成寺一丁目（本成寺）
5	彫 刻	木造阿弥陀如来立像	1956年(昭和31.3.23)	上保内（長泉寺）
6	彫 刻	木造阿弥陀如来立像	2012年(平成24.3.27)	飯田（本都寺）
7	工芸品	大太刀（銘信国）	1956年(昭和31.3.23)	八幡町（八幡宮）
8	考古資料	保内三王山古墳群出土品	2016年(平成28.3.25)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)ほか(三条市)
9	風俗慣習	越後の風合戦習俗	2015年(平成27.3.24)	上須頃（三条風協会）
10	民俗芸能	三条神楽	1963年(昭和38.3.23)	八幡町など（三条神楽保存会）
11	史 跡	五十嵐館跡	1973年(昭和48.3.29)	飯田（三条市）
12	天然記念物	八木鼻のハヤブサ繁殖地	1965年(昭和40.4.7)	北五百川（三条市）

市指定文化財

13	建造物	本成寺千仏堂	2005年(平成17.5.13)	西本成寺一丁目（本成寺）
14	建造物	諸橋轍次博士生家	2005年(平成17.5.13)	庭月（三条市）
15	建造物	八木神社本殿・拝殿・幣殿	2005年(平成17.5.13)	北五百川（八木神社）
16	建造物	升箕社古宮，本殿・拝殿・幣殿	2005年(平成17.5.13)	下大浦（升箕社）
17	建造物	来迎寺観音堂	2009年(平成21.8.26)	井栗三丁目（来迎寺）
18	建造物	本成寺多宝塔	2010年(平成22.7.26)	西本成寺一丁目（本成寺）
19	建造物	本成寺鐘楼	2012年(平成24.5.28)	西本成寺一丁目（本成寺）
20	建造物	本成寺黒門	2012年(平成24.5.28)	西本成寺一丁目（本成寺）
21	建造物	静照院釈迦堂	2012年(平成24.5.28)	北四日町（静照院）
22	彫 刻	木造阿弥陀如来坐像	2005年(平成17.5.13)	如法寺（海蔵院）
23	彫 刻	木造釈迦如来坐像	2005年(平成17.5.13)	如法寺（海蔵院）
24	彫 刻	木造観音菩薩立像	2005年(平成17.5.13)	長嶺（如法寺）
25	彫 刻	木造傳大士坐像・普建・普成立像	2005年(平成17.5.13)	西本成寺一丁目（本成寺）
26	彫 刻	木造四天王立像	2005年(平成17.5.13)	小滝（東山寺）
27	彫 刻	石動神社の彫刻	2005年(平成17.5.13)	吉野屋（石動神社）
28	彫 刻	千手観音菩薩坐像	2010年(平成22.7.26)	院内（最明寺）
29	彫 刻	木造十一面観音菩薩立像	2005年(平成17.5.13)	神明町（安養院）
30	工芸品	梵 鐘（ぼんしょう）	2005年(平成17.5.13)	井栗三丁目（来迎寺）
31	工芸品	鰐 口（わにぐち）	2005年(平成17.5.13)	八幡町（八幡宮）
32	古文書	藤崎家文書	2005年(平成17.5.13)	荻堀（下田庁舎）
33	古文書	本成寺中世文書	2005年(平成17.9.7)	西本成寺一丁目（本成寺）
34	古文書	上保内・矢川家文書	2007年(平成19.8.24)	上保内（個人）
35	考古資料	板 碑（いたび）	2005年(平成17.5.13)	如法寺（海蔵院）
36	考古資料	板 碑	2005年(平成17.5.13)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)
37	考古資料	上野原遺跡出土品	2009年(平成21.8.26)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)
38	考古資料	経塚山遺跡出土鉄斧	2009年(平成21.8.26)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)

39	考古資料	荒沢遺跡出土品	2011年(平成23.7.26)	飯田（三条市下田郷資料館）
40	考古資料	京野原遺跡出土石棒	2012年(平成24.5.28)	荒沢（個人）
41	考古資料	保内三王山古墳群出土品	2014年(平成26.3.26)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)ほか(三条市)
42	考古資料	長野遺跡出土品	2017年(平成29.3.27)	長野（三条市下田郷資料館）
43	考古資料	赤松遺跡出土岩偶	2018年(平成30.3.26)	飯田（三条市下田郷資料館）
44	有形民俗	五十嵐神社注連懸大杉	2005年(平成17.5.13)	飯田（五十嵐神社）
45	有形民俗	中浦歌舞伎関係資料	2021年（令和3.6.30）	中浦（鹿嶋神社）
46	風俗慣習	十万石格式の大名行列一式	2005年(平成17.5.13)	八幡町(十万石格式の大名行列保存会)
47	民俗芸能	下須頃獅子舞	2005年(平成17.5.13)	下須頃（下須頃獅子舞保存会）
48	民俗芸能	木場神楽	2005年(平成17.5.13)	本町三丁目（木場神楽保存会）
49	民俗芸能	先供（奴）祭り囃子	2005年(平成17.5.13)	八幡町(三条八幡宮先供組合）
50	民俗芸能	栄神楽	2005年(平成17.5.13)	帯織ほか（栄神楽保存会）
51	史 跡	万葉の歌碑	2005年(平成17.5.13)	井栗（伊久礼神社）
52	史 跡	観測日食碑	2005年(平成17.5.13)	東大崎（永明寺）
53	史 跡	地震亡霊塔	2005年(平成17.5.13)	東裏館一丁目（宝塔院）
54	史 跡	如法寺「火井の地」	2005年(平成17.5.13)	如法寺地内
55	史 跡	秀峰山明暗寺跡	2005年(平成17.5.13)	中野原（個人）
56	史 跡	高城城跡	2005年(平成17.5.13)	森町（高城城址保存会）
57	名 勝	八木ヶ鼻	2009年(平成21.8.26)	北五百川（八木神社）
58	天然記念物	万葉の藤	2005年(平成17.5.13)	井栗（万葉の藤管理組合）
59	天然記念物	如法寺八幡社の大杉	2005年(平成17.5.13)	如法寺（如法寺八幡社）
60	天然記念物	芝地鶏（日本鶏）	2005年(平成17.5.13)	三条市内

国登録有形文化財

建造物	三条市歴史民俗産業資料館(旧武徳殿)	2009年(平成21.8.7)	本町三丁目(三条市歴史民俗産業資料館)
建造物	三条市水道局大崎浄水場	2011年(平成23.10.28)	中新（三条市水道事業）
建造物	嵐溪荘 緑風館	2012年(平成24.8.13)	長野（嵐溪荘）
建造物	旧今井家住宅新館	2013年(平成25.12.24)	本町三丁目（丸井今井邸）
建造物	旧新光屋米店店舗兼主屋	2014年(平成26.12.19)	仲之町(みんなのまちの交流拠点「みんくる」)
建造物	旧新光屋米店精米所	2014年(平成26.12.19)	仲之町(みんなのまちの交流拠点「みんくる」)
建造物	遠人村舎	2014年(平成26.12.19)	庭月
建造物	小松酒店店舗兼主屋	2015年(平成27.8.4)	本町一丁目
建造物	旧外山虎松商店店舗兼主屋	2015年(平成27.11.17)	神明町
建造物	つるがや店舗兼主屋	2016年(平成28.8.1)	本町四丁目

主な遺跡

遺跡名	主な時代	所在地	出土品を展示しているところ
荒沢遺跡	旧石器	荒沢	下田郷資料館
吉野屋遺跡	縄文	吉野屋	三条市歴史民俗産業資料館
上野原遺跡	縄文・弥生・平安・中世	上野原	三条市歴史民俗産業資料館
保内三王山古墳群	古墳	上保内	三条市歴史民俗産業資料館
合屋遺跡	平安	西潟	三条市歴史民俗産業資料館
下町遺跡	室町～安土・桃山	西大崎二丁目	三条市歴史民俗産業資料館
長野遺跡	縄文中期・後期	長野	下田郷資料館
赤松遺跡	縄文後期・晩期	大谷地	下田郷資料館

(3) 写真で見る三条市の文化財

文化財の名前などは、写真についている数字をもとに、102, 103 ページの「三条市の文化財一覧表」で調べましょう。

国指定文化財



県指定文化財



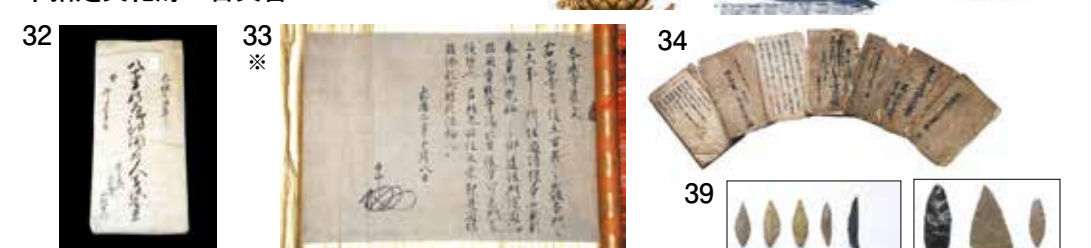
市指定文化財 建造物



市指定文化財 彫刻



市指定文化財 古文書



市指定文化財 有形民俗



市指定文化財 風俗慣習



市指定文化財 民俗芸能



市指定文化財 史跡・名勝



市指定文化財 天然記念物



※は荒木常能氏 撮影・提供

おも い せき
主な遺跡

あらさわ いせき はくつ ようす せつき
荒沢遺跡 (発掘の様子・ナイフ形石器)



よしの や いの つか
吉野屋遺跡 (お祈りに使った土の人形)



うえ の はら たてあなしきじゅうきょ
上野原遺跡 (竪穴式住居発掘の様子)



ほ ないさんのうやま こ ふんぐん
保内三王山古墳群 (見学の様子)



こう や しゅつと ど き
合屋遺跡 (発掘の様子・出土土器)



しもちよう い ど ところ
下町遺跡 (井戸を発掘した所・げた)



なが の
42 長野遺跡



あかまつ
43 赤松遺跡 (石の人形と矢じり)



【三条市名誉市民】

三条市では、同市出身で社会や文化に大きな功績を残した人物に対して、その功績と栄誉をたたえて「名誉市民」という称号を贈っています。現在、三条市の名誉市民は6名です。どんな人物なのか、みなさんは知っていますか。

① 諸橋轍次さん（漢学者）（1883年～1982年）



- ・明治16年6月4日生まれ
- ・小学校卒業後、奥畑米峰という先生のもとで、3年間、漢学を学ぶ
- ・昭和5年 東京文理科大学の教授になる
- ・昭和2年から30年あまりをかけて『大漢和辞典』を完成させる
- ・漢学研究の第一人者として、現在の天皇陛下の名前「徳仁」の命名にかかわる
- ・昭和57年12月8日、99歳で逝去する

② 岩田正巳さん（日本画家）（1893年～1988年）



- ・明治26年8月11日生まれ
- ・東京の美術館で様々な絵画と出会い、絵を描くことを一生の仕事にしたいと考える
- ・大正2年 東京美術学校日本画科に入学する
- ・大正7年 東京美術学校研究科（大学院）にすすみ、大和絵を研究する
- ・代表作は「高野草創」「大和路の西行」「石仏」などがある
- ・昭和52年に日本芸術院会員となる
- ・昭和63年3月9日、94歳で逝去する

③ 渡邊義雄さん（写真家）（1907年～2000年）



- ・明治40年4月21日生まれ
- ・昭和3年 東京写真専門学校を卒業
- ・在学中に、『写真月報』に作品を発表する
- ・昭和25年 「日本写真家協会」の設立の発起人・主催者となる
- ・昭和33年から23年間、日本写真家協会の会長を務める
- ・代表作は「伊勢神宮」「宮殿」「迎賓館」などがある
- ・平成12年7月21日、93歳で逝去する

④ 小林ハルさん（瞽女：日本の女性の盲人芸術家）（1900年～2005年）



- ・明治33年1月24日生まれ
- ・生後3カ月で白内障を患い、両目の視力を失う
- ・明治38年、5歳の時に樋口フジの弟子になり、瞽女修行を始める
- ・8歳で初めて巡業に出る。昭和48年まで新潟県、山形県、福島県を巡る
- ・昭和53年 「瞽女唄」が「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財の選択」の認定を受ける
- ・平成17年4月25日、105歳で逝去する

⑤ 鶴巻三郎さん（人形工芸作家）（1908年～2005年）



- ・明治41年2月3日生まれ
- ・昭和4年 脚気の療養中に華道を学び、花器の制作を試みる
- ・昭和8年 東京の展覧会で能面に魅了され、我流で能面を制作する
- ・広川松五郎の書生となり、独自の技法で人形制作を始める
- ・手漉き和紙による「紙塑人形」を自ら編み出す
- ・代表作は「せんこはなび」「抱包」などがある
- ・昭和53年 新潟県美術家連盟理事長に就任する
- ・平成17年6月12日、97歳で逝去する

⑥ ジャイアント馬場【本名：馬場正平】 （元プロ野球選手・プロレスラー）（1938年～1999年）



- ・昭和13年1月23日生まれ
- ・昭和28年 三条実業高校機械科に入学する
- ・硬式野球部に入部し、エースとして活躍する
- ・昭和30年、読売ジャイアンツのスカウトに誘われ、高校を中退して巨人に投手として入団する
- ・昭和35年 力道山に直訴して、日本プロレスに入門する
- ・昭和40年 アメリカでの武者修行中、NWA（全米レスリング同盟）インターナショナル・ヘビー級王座になる
- ・平成10年12月5日の最後の試合までリングに上がり続け、国内通算5,785戦を達成する
- ・平成11年1月31日、61歳で逝去する

あ と が き

令和2年度より，小学校では現行の学習指導要領が施行されています。

この学習指導要領では「生きる力」をより具体化し教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を，生きて働く「知識・技能」の習得，未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成，学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養の三つの柱に整理しました。

「わたしたちのまち三条」は，学習指導要領の理念を受け，次のような点に留意して，作成・改訂をしています。

- 自ら問いをもち，解決していく力を身に付けることができるよう，副読本の中の子どもが，吹き出しの形で問いかけます。
- 見やすく，親しみやすい副読本にするために，全ページをカラー印刷にしています。
- 授業で調べ学習を進める際，参考にすることができるよう，校区単位の事例についても，いくつか掲載しています。
- 資料をより活用できるものとするため，データや写真，地図を可能な限り新しくしています。

この副読本を手がかりに，子どもたちが「自分たちのまち三条」について学び，社会的事象の特色をより深く考えるようになることを期待します。

2024年度版「わたしたちのまち 三条」編集委員

編集委員長	佐久間 陽 子 （栄北小学校校長）
編集副委員長	古 澤 正 雄 （井栗小学校教頭）
編 集 委 員	高 橋 多美子 （長沢小学校教諭）
	石 川 信 也 （一ノ木戸小学校教諭）
	小 林 靖 裕 （裏館小学校教諭）
	星 野 智 大 （西鱒田小学校教諭）
	平 石 孝 （大面小学校教諭）
編 集 企 画	石 黒 亮 （飯田小学校教諭）
	松 原 康 之 （学校教育課統括指導主事）
	藤 井 佳 介 （教育センター指導主事）

○この本の編集のためにご協力いただいた主な役所，会社等（順不同・敬称略）

三条市役所関係各課，大崎浄水場，三条市下水処理センター，三条市清掃センター，一般廃棄物最終処分場（桑切埋立地），かんきょう庵，三条市消防本部，図書館等複合施設まちやま，諸橋轍次記念館，三条市歴史民俗産業資料館，三条鍛冶道場，厚生福社会館，三条市総合福祉センター，子育て拠点施設すまいるランド・あそぼって，三条市体育文化会館，三条ものづくり学校，三条・燕総合グラウンド，三条パール金属スタジアム，ハ木ヶ鼻温泉いい湯らてい，槻の森運動公園，三条市水防学習館，燕三条地場産業振興センター，ウェルネスしただ，三条地域水道用水供給企業団，新潟県警察本部，三条警察署，大面駐在所，刈谷田川右岸排水機場，刈谷田川ダム，笠堀ダム，大谷ダム，新潟県三条地域振興局，新潟県長岡地域振興局，ＪＲ北三条駅，ＪＲ東日本新潟支社，ＪＡえちご中越，三条郵便局，特別養護老人ホームうらだての里，日本下水道施設業協会，三条市商店街振興組合，三条中央商店街振興組合，栄神楽保存会，八幡宮，本成寺，真宗大谷派三条別院，東山寺，最明寺，栄北部株式会社，タダフサ，コロナ，諏訪田製作所，スノーピーク，マルナオ，イオン三条店，生活協同組合コープにいがた，餃子の雪松（株式会社ＹＥＳ），ＪＡえちご中越農産物直売所ただいまーと，ウオロク興野店，知遊堂三条店，セブンイレブン三条西裏館店，クスリのアオキ三条北店，カネギフルーツ村，アメヤ精肉店，金子誠，岩坂省三，佐藤真弥，伊部利一，熊倉睦，齊藤悟，齊藤真澄，荒木常能，朝日航空

わたしたちのまち 三条

2024年度版

平成19年4月1日初版発行
平成20年4月1日改訂版発行
平成23年4月1日改訂版発行
平成25年4月1日改訂版発行
平成27年4月1日改訂版発行
平成29年4月1日改訂版発行
令和 2 年4月1日改訂版発行
令和 4 年4月1日改訂版発行
令和 6 年4月1日改訂版発行

編 集 三条市教育委員会

発 行 三条市教育委員会

〒959-1192 三条市新堀1311
電話 (0256) 45-1112 FAX (0256) 45-5309

制 作 株式会社 野島出版

〒955-0062 三条市仲之町1番7号
電話 (0256) 34-3592 FAX (0256) 35-1350